



階段昇降 ユニット J-MAX 取扱説明書

はじめに

このたびはサンワの階段昇降ユニット「J-MAX」(以下、J-MAX)をお求めいただきありがとうございます。J-MAXは階段や段差を移動できるユニットです。

専用の車いすを装着することなどにより、搭乗者と一緒に階段を昇降できます。

ご使用前には必ず本書をお読みいただき、安全にご使用ください。

なお、本書には保証書が含まれております。お読みになった後は、必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。



J-SEAT モデル



J-COMPACT モデル

SUNWA

もくじ

1. 安全上の注意事項.....	3
1 シンボルマークの定義.....	3
2 安全のため、必ずお守りください.....	4
2. 各部の名称.....	8
1 全体.....	8
2 各部の詳細.....	9
操作スイッチ部.....	9
昇降ユニット部.....	9
モード切替スイッチ.....	10
セーフティアーム.....	10
3. 基本構成と基本動作および機器の特徴.....	11
1 基本構成.....	11
2 基本動作.....	11
3 機器の特徴.....	12
機器のバランス確保と安全性・快適性.....	12
セーフティアーム.....	13
角度センサ.....	15
セーフティブレーキ.....	15
4. ご使用になる前の確認.....	16
1 梱包内容.....	16
2 本体の組立方法および分解方法.....	17
操作キー.....	17
バックレスト.....	18
電源ケーブル.....	18
バッテリー.....	19
シート（座面）※J-SEAT モデルのみ.....	20
アームレスト ※J-SEAT モデルのみ.....	20
5. 各部の説明と取扱方法.....	21
操作キー.....	21
電源スイッチ.....	22
昇降スイッチ.....	22
スピード調節スイッチ.....	22
電源表示灯の不具合表示.....	23
モード切替スイッチ.....	23
昇降アーム.....	24
セーフティブレーキ.....	24
ハンドル.....	24
駐車ブレーキ ※J-SEAT モデルのみ.....	25
アームレスト ※J-SEAT モデルのみ.....	27
フットレスト ※J-SEAT モデルのみ.....	27
6. 操作方法.....	28
1 ご使用前の確認と安全の手引き.....	28
ご使用前の確認について.....	28
操作（操作者を含む）について.....	29
ご使用場所について.....	30
ご使用前のセーフティアームと角度センサの確認.....	31
ご使用前のセーフティブレーキの確認.....	31
非常停止方法.....	32
2 平地走行・平地移動.....	32
3 坂道走行.....	33

4	階段昇降.....	34
	階段を昇る	35
	階段を降りる	37
	昇降を終える	39
5	ガイドブザー機能と音量調整（機能 ON/OFF）方法	40
	機能	40
	従来品との区別方法	41
	ガイドブザー音量調整（機能 ON/OFF）方法	41
	ブザー・ハンドル振動による不具合通知	42
7.	車いすとの装着 ※J-COMPACT モデルのみ	43
	車いすの装着 ※J-COMPACT モデルのみ	43
8.	バッテリーの特徴と充電方法	45
1	バッテリーの特徴	45
	鉛蓄電池	45
	ヒューズ	46
2	バッテリーの保管方法	46
	バッテリーの充電方法	46
	充電器.....	46
	バッテリーの充電方法	47
	充電器の表示内容	47
9.	付属品	48
1	腰ベルト ※J-SEAT モデルのみ	48
	組付け方法	48
	使用方法	48
2	肩ベルト	50
	組付け方法	50
	使用方法	50
3	ヘッドレスト	52
	組付け方法	52
	使用方法	52
4	保護帽	53
	保護帽の仕様 ※ 付属品	53
	保護帽の条件 ※ 付属品の保護帽以外を使用される場合	53
10.	日常の点検とお手入れ方法	54
1	日常の点検.....	54
	基本的な点検内容	54
	セーフティブレーキ.....	55
	セーフティアーム.....	55
	昇降フット	55
2	お手入れ	56
	セーフティブレーキ周辺	56
	その他の部品	56
11.	保管方法	57
12.	おかしいなと思ったら	58
13.	製品仕様.....	62
	J-COMPACT モデル	62
	J-SEAT モデル	63
14.	保証とアフターサービス	63
	保証について《保証規定》	64
	アフターサービスについて	64

1. 安全上の注意事項

このたびはサンワの「階段昇降ユニット J-MAX」をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

また、J-MAX には「J-COMPACT モデル」と「J-SEAT モデル」があります。この取扱説明書では「J-COMPACT モデル」を基本に記載していますが、特に記載がない場合は、2つのモデルの取り扱いについて説明しております。



安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みにになり、内容をよくご理解いただいたうえで正しくご使用ください。

なお、この取扱説明書の各説明の図は、説明をわかりやすくするために一部形状の異なるイメージ図を使用しています。


また、この取扱説明書には保証書も含まれています。お読みにになった後は、必要なときにいつでもご覧になれるところへ大切に保管してください。

1 シンボルマークの定義





正しい取扱いに関する必要事項をシンボルで表示しています。

 警告	取扱いを誤った場合、死亡または、重傷にいたる可能性が想定される場合を示しています。
 注意	取扱いを誤った場合、障害にいたる可能性または、物的損害の発生が想定される場合を示しています。

取扱いの要点として

 要点	正しい操作の仕方や、点検整備上のポイントを示しています。
---	------------------------------

また、絵とともに次の図記号をつけて、人がしてはいけないこと、必ずしなければならないことを区別しています。

 または  禁止	してはいけないことを示しています。
 または  強制	必ずしなければならないことを示しています。

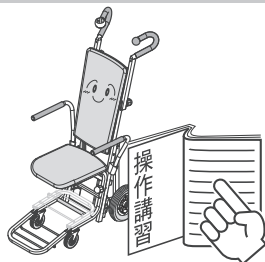
2 安全のため、必ずお守りください

安全のため、以下の注意事項をよく読んで、正しくお使いください。

■ ご使用前



警告



本製品の操作講習を受けていない方は操作できません。
また、ご使用前には操作方法に十分に慣れてからご使用ください。

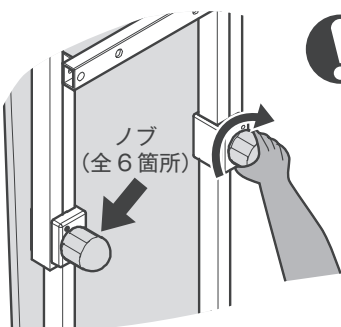


注意

雨の日や濡れた路面では使用しないでください。



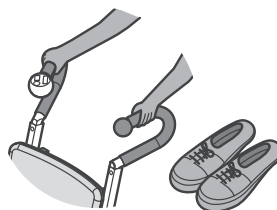
警告



各ノブは、しっかりと固定できているかご使用前に必ず確認してください。



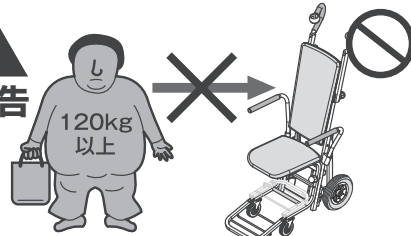
警告



操作するときには、必ず滑りにくい靴を履いて、必ず両手で行ってください。



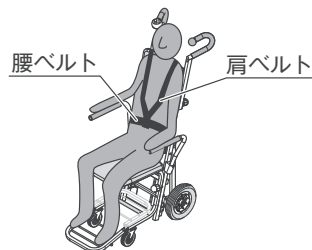
警告



最大荷重(120kg)を超える使い方をしないでください。



警告



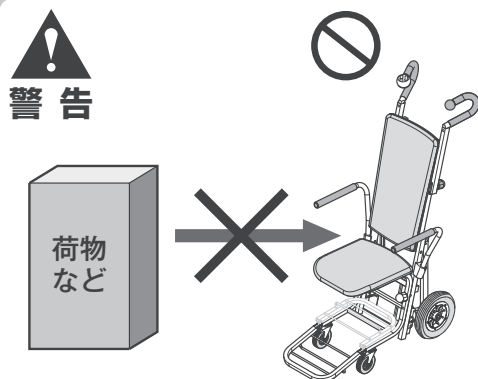
搭乗者が昇降中に動くと大変危険ですので、昇降中は動かないように十分にご注意をお願いします。
シートベルトをご使用ください。



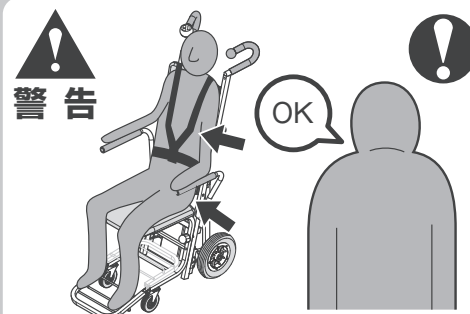
警告



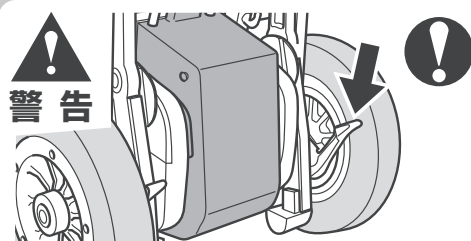
搭乗者は必ず弊社推奨の保護帽もしくは弊社指定の条件を満たしたものをかぶってください。転落時のケガを最小限に食い止めます。



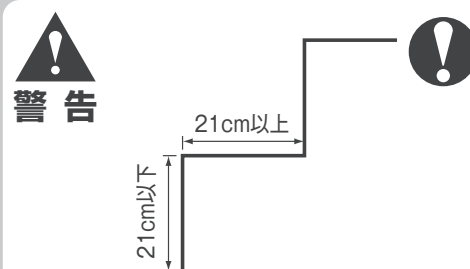
人の搬送以外には使用しないでください。



動作前には、搭乗者が完全に座っているか、電源ケーブル・シートベルト(付属品)・衣服などが駆動機構部分に挟まれていないか、確認してください。

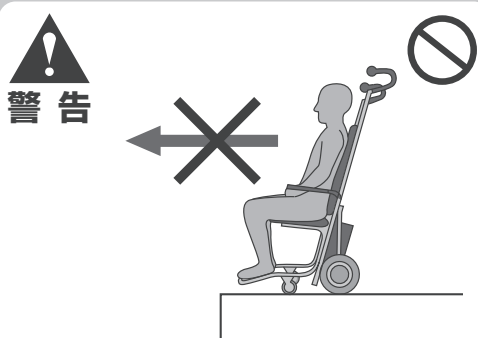


ご使用前には必ずセーフティブレーキのチェックをしてください(P.31,55,56 参照)。ブレーキ部分には石鹸水や油性のクリーナーなどを付着させないでください。異常があるときにはいかなる状況でも使用を中止してください。

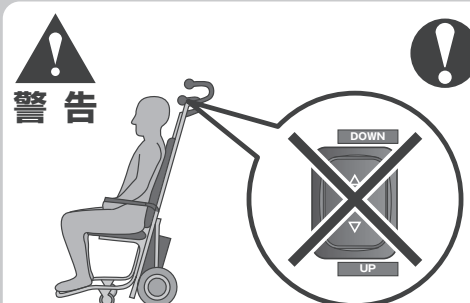


ご使用前には下記のご使用環境を確認してください。(階段の段差高さ:21cm 以下、踏み面:21cm 以上、踏み面が平らであること、階段の端が大きく欠けていないこと、踊り場はバランスを保つだけの十分なスペースがあること)

■ ご使用時



踊り場などから傾斜させずに、階段に進入することを禁止します。
階段から転落する恐れがあります。



傾斜させずに、昇降スイッチを押さないでください。
搭乗者が転落する恐れがあります。



警告



階段を昇降するときは必ず両輪を階段の端まで移動させてから行ってください(斜めに進入しないでください)。特に、滑り止めのついた階段では階段の端に行きにくいので注意してください。階段を踏み外して、転落する恐れがあります。



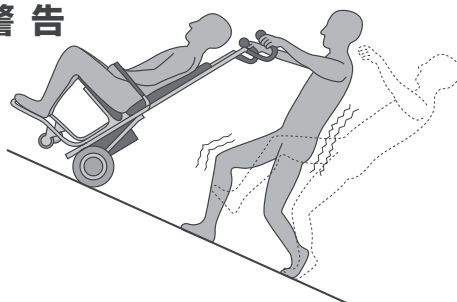
警告



異常があるときは使用しないでください。また、昇降中に何か異常を感じたら、すぐに昇降スイッチを離して、安定位置に戻るか非常停止(P.32 参照)してください。



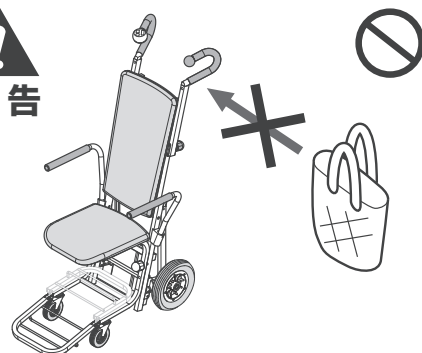
警告



急な坂では使用しないでください。転倒する恐れがあります。



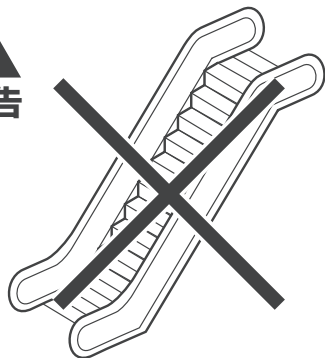
警告



ご使用時には、ハンドル部などにかばんなどをかけないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。



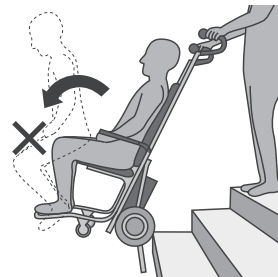
警告



エスカレータや動く歩道では使用しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。

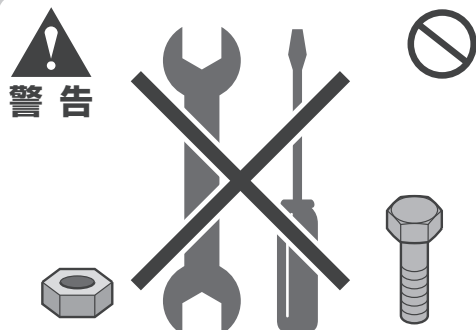


警告



本製品は、昇降中など操作者がバランスをとりながら使用するものです。前方へバランスを崩すと転落などにより事故の原因となりますので、十分に練習を行って操作方法を理解したうえでお使いください。

■ 運搬・保管など



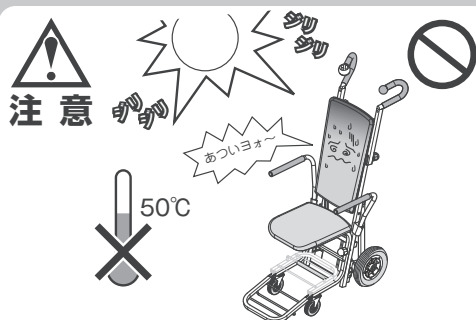
警告

分解や改造はしないでください。
分解・修理が必要なときは、必ず販売店
または当社にご依頼ください。



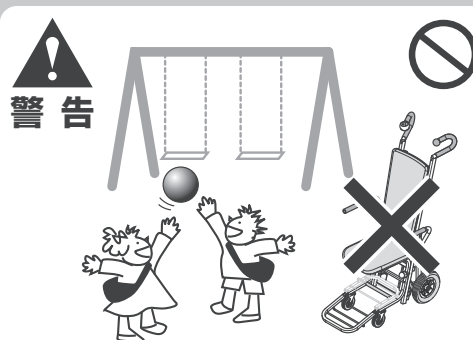
注意

水がかかる場所や湿気の多い場所には
放置しないでください。
電気系統に異常が発生する恐れがあり
ます。



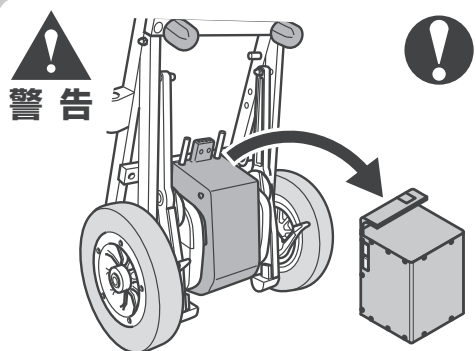
注意

火気の近く、炎天下の車中など 50 度
以上になるところに放置しないでくだ
さい。
機器の故障につながります。



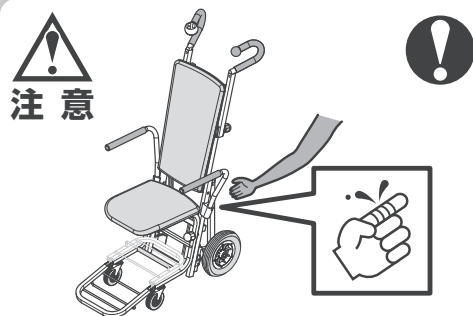
警告

子供が遊びに使えるような場所や、車
道に近い場所、および傾斜地には放置・
駐車をしないでください。



警告

操作講習を受けていない方や子供が使用
しないように、使用しないときは操作キー
とバッテリーを外して管理してください。



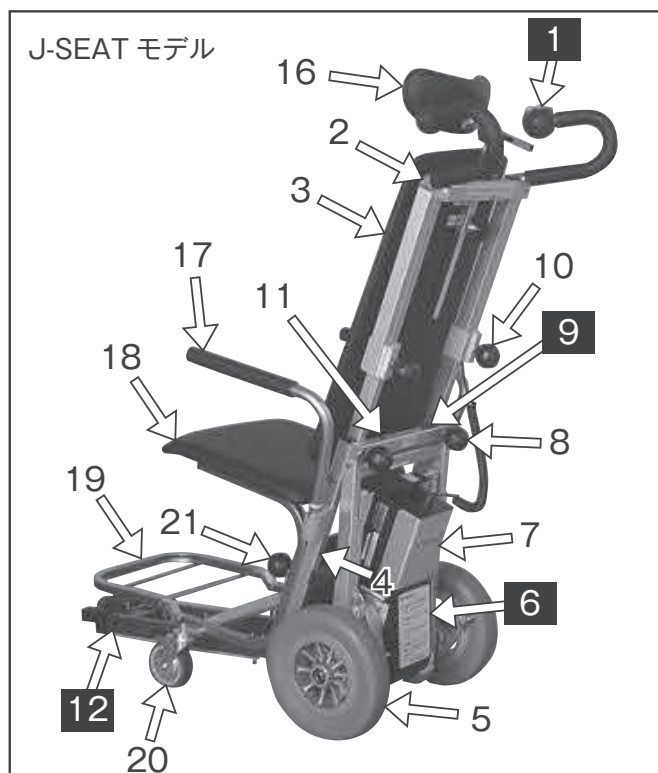
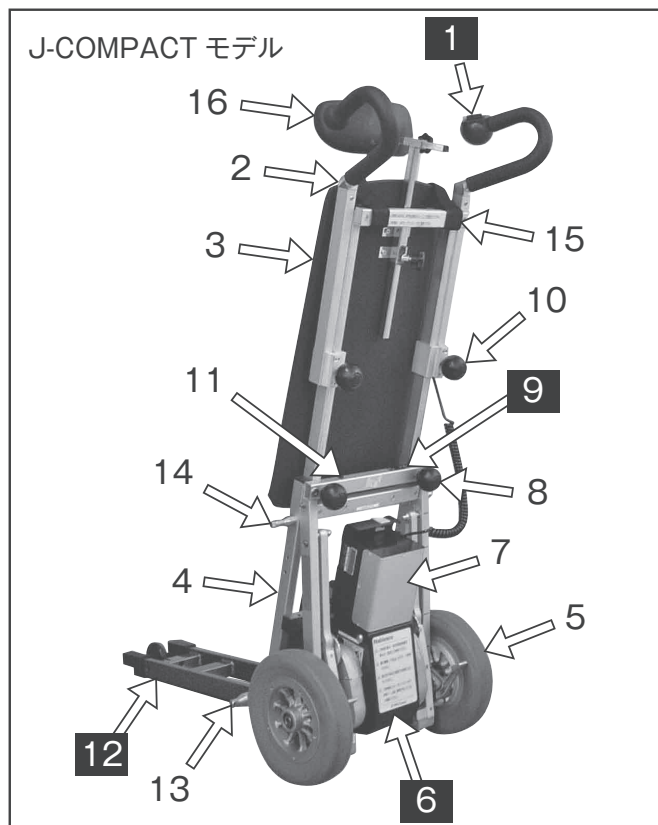
注意

運搬時には、電源を必ず切り、駆動機構
部分などではなくフレームパイプ部分
をしっかり持ってください。手を挟ん
だりしてケガをする恐れがあります。

2. 各部の名称

1 全体

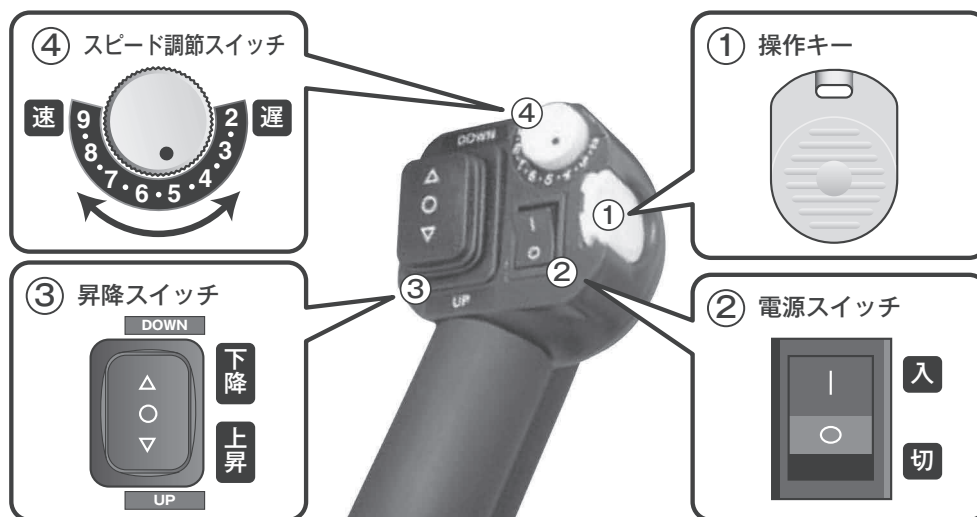
1	操作スイッチ部
2	ハンドル(高さ調節可能)
3	バックレスト
4	フレーム
5	タイヤ
6	昇降ユニット部
7	バッテリー
8	バックレスト固定ノブ
9	モード切替スイッチ
10	ハンドル高さ固定ノブ
11	電源表示灯
12	セーフティアーム
13	案内ピン
14	固定ピン
15	肩ベルト(付属品)
16	ヘッドレスト(付属品)
17	アームレスト(取外し可能)
18	シート(座面)
19	フットレスト(折畳み可能)
20	キャスタ
21	シート固定ノブ



2 各部の詳細

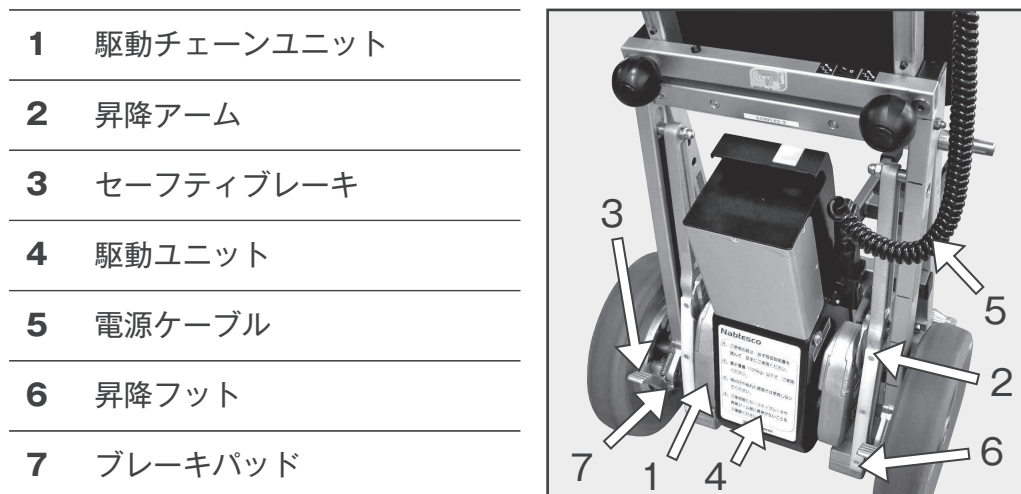
● 操作スイッチ部

操作スイッチ部は、右ハンドルにあります。



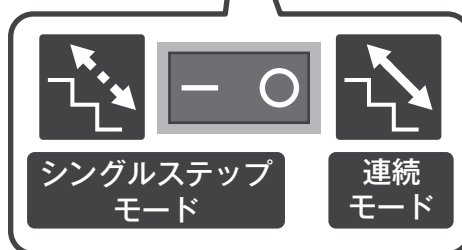
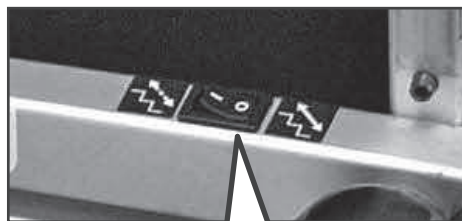
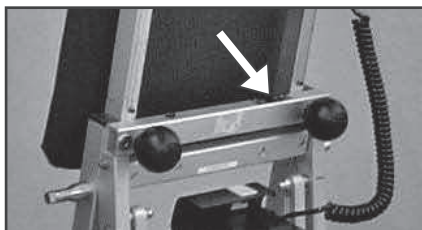
● 昇降ユニット部

昇降ユニット部は、下記により構成されています。



● モード切替スイッチ

モード切替スイッチは、昇降ユニット部の上のパイプにあります。

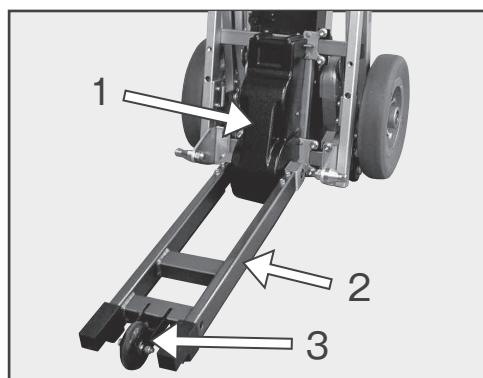


● セーフティアーム

1 本体

2 アーム

3 車輪



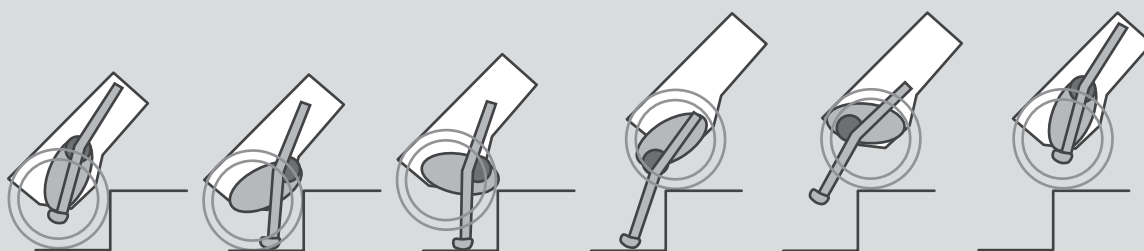
3. 基本構成と基本動作および機器の特徴

1 基本構成

- **操作スイッチ部**
昇降時に電源の ON/OFF やスピード調節、昇降などを操作者がスイッチにより操作します。
- **駆動装置部**
昇降スイッチの信号を受けて、電気により駆動力を発生して昇降機構を動作させます。
- **昇降機構部**
駆動装置部の駆動力を受けて、昇降アームが一定のサイクルで動作します。
- **バッテリー部**
駆動装置部に電源を供給します。
- **セーフティアーム部**
万が一、前方へバランスを崩したときに、前方への転落を防ぎます。
- **車いす装着部（J-COMPACT モデルのみ）**
専用の着脱部品を取り付けた車いすを装着して保持します。

2 基本動作

- 昇降時は、常に安定位置でバランスをとりながら操作します。
- 昇降時は、階段の上側に操作者、下側に搭乗者という状態で進みます。
- 昇降動作は、操作者が昇降スイッチを操作することにより電動モータの力によって昇降アームが上下動して階段や段差を上り下りします。
- 前後への移動は、手動によって前方や後方に走行させます。



3 機器の特徴

● 機器のバランス確保と安全性・快適性

昇降時は、本体を常に傾斜させた状態でバランスをとりながら動作させます。

傾斜させた状態でバランスをとることが操作において安全性と快適性を確保するために最も重要なことになります。

バランス状態は、機器全体の重心位置と昇降フットの接地位置が垂直線上にあるときの状態です（図 2）。

重心位置が昇降フットの接地位置より前にくると前側に倒れやすくなり（図 1）、後ろ側にくると後ろ側に倒れやすくなります（図 3）。



特に、図 1 の状態でバランスを崩すと機器が前側に倒れ、階段から転落してケガや死亡などにつながりますので、絶対に図 1 の状態では使用しないでください。

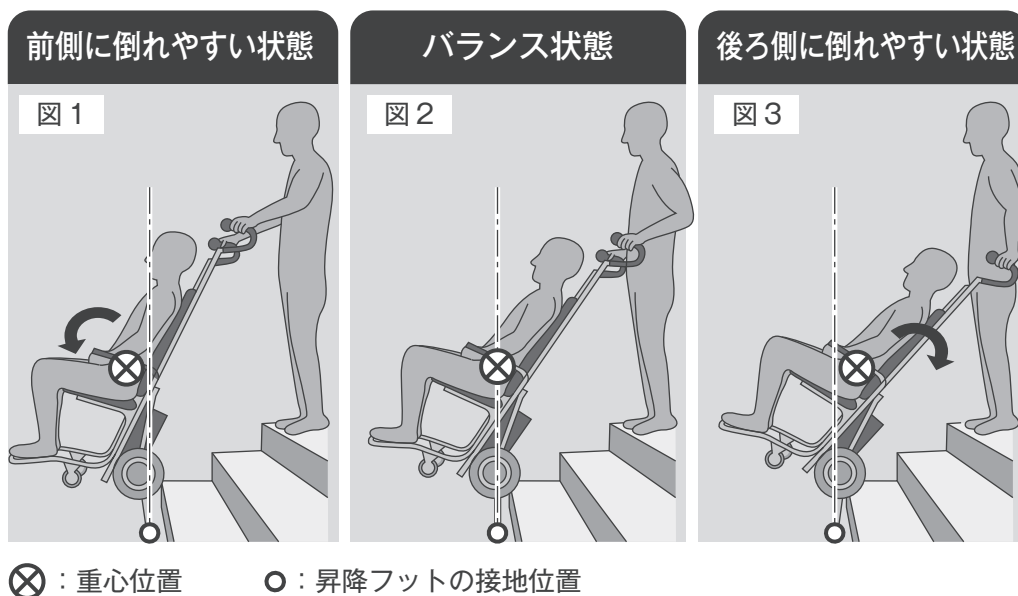


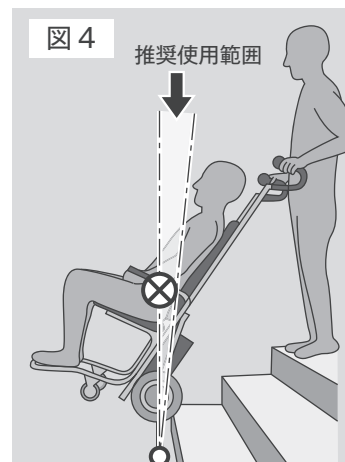
図1のような前側に倒れやすい状態で操作することが最も危険です。

図4の推奨使用範囲に示すように、図2の状態から少しでも後側に傾けた状態までの範囲でご使用ください。ただし、この範囲は、操作者の身長や搭乗者の体重、および昇降状態などによって異なります。

この推奨使用範囲を覚えていただき、この範囲で常にバランスを確保できるようになるために、操作する方には当社規定の操作講習を受講していただきます。この操作講習で、バランスを確保することが確認できて初めてご使用いただけます。

本製品の操作講習を受けていない方は操作できません。

また、本取扱説明書をよく読んで、特に記載してある警告・注意・禁止・要点には十分に注意を払ってご使用ください。



⊗：重心位置

○：昇降フットの接地位置

● セーフティアーム

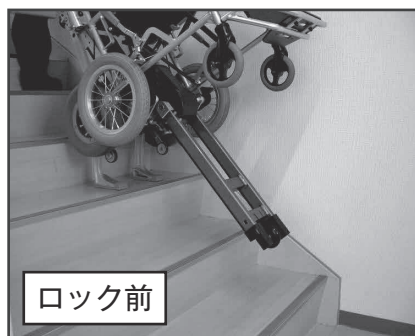
万が一にも前方にバランスを崩してしまったときに、前方への転落を防ぐ装置がセーフティアームです。

この機構によって、前方への転落を防ぎますので、動作する前にはセーフティアームが必ず作動することを確認してください。また、日常の点検とお手入れが必要です。(P.55 参照)

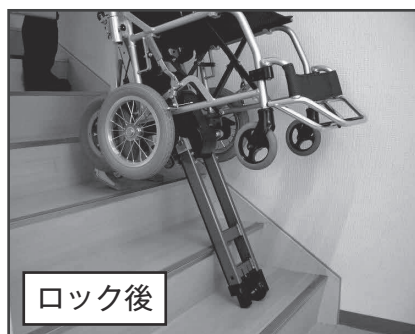


強制

ご使用前には、正常に動作することを必ずご確認ください。(P.31 参照) もし、正常に動作しない場合は、直ちにご使用を中止して販売店にご連絡ください。



ロック前



ロック後



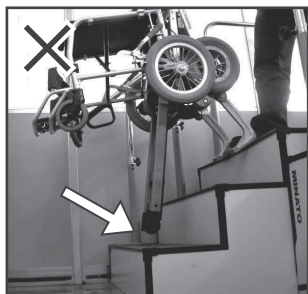
要 点

- 電源を ON しているときにのみ同装置は働きます。また、電源を ON した直後には、正常に作動していることを知らせるためにブザーが鳴ります。
- セーフティアームが作動しているときには、昇降スイッチを押しても動作しません。操作する前にバランス状態に確実に戻してください。

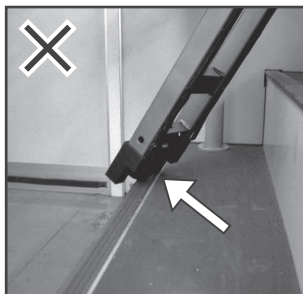


警 告

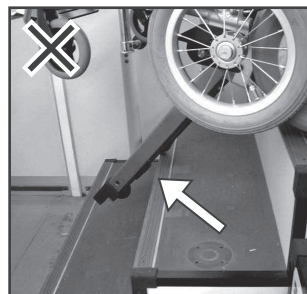
- セーフティアームは、階段の形状やサイズや操作状況などによっては前方への転落防止が有効に働かず前方に転落することがあります。(P.30 参照)
例えば、らせん階段、曲がり階段、急な階段でアームが届かない状態、仕様を超える階段など



仕様を超える階段などで、アームが届かない場面



らせん階段などで、アーム先端が片側しか接地しない場面



らせん階段などで、アームが階段へりに片側しか当たらない場面

- セーフティアームは危険な状態になったときに非常的に作動する装置です。操作する方は、セーフティアームに頼りきらずに操作講習で覚えたバランスを確保して安全に操作するようにしてください。
- 万が一、操作中にセーフティアームが作動したときには、使用状況や本体などを確認するために販売店にご連絡ください。
- セーフティアームが作動したときは、電源を切らないでください。
セーフティアームが解除されて転落の恐れがあります。電源を切らずに、本体を傾けて、バランス状態に確実に戻してから操作を開始してください。

● 角度センサ

操作時に推奨するバランス状態から、前方または後方へバランスを崩してしまったときに、ハンドルがブルブル震えてバランスが悪いことを知らせる機能が角度センサです。

ガイドブザー機能を有効にすると、ブザーでも合わせてお知らせします。

※ ガイドブザーについてはP.40 もご参照ください。



強制

ご使用前には、正常に動作することを必ずご確認ください。(P.31 参照) もし、正常に動作しない場合は、直ちにご使用を中止して販売店にご連絡ください。



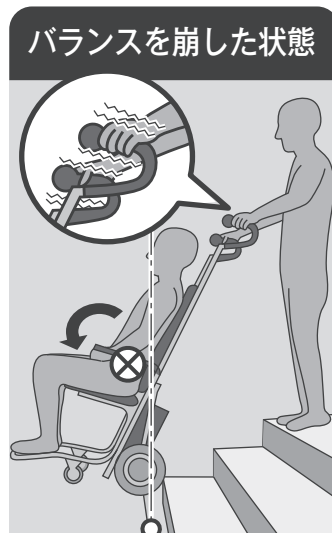
要点

電源を ON した直後は、正常に作動していることを知らせるために振動します。



警告

角度センサはバランスを確保するための補助的な装置です。また、急激にバランスが変化したときなどは振動してもわからないことがありますので、操作する方は、角度センサに頼りきらずに操作講習で覚えたバランスを確保して安全に操作するようにしてください。



⊗ : 重心位置

○ : 昇降フットの接地位置

● セーフティブレーキ

下るときには、階段の端まで本体を押しします。そのときに、階段からの転落を防止する機構がセーフティブレーキです。

この機構によって、転落事故を防ぎますので、動作前にはセーフティブレーキが必ず作動することの確認、および日常の点検とお手入れが必要です。

(P.31,55,56 参照)



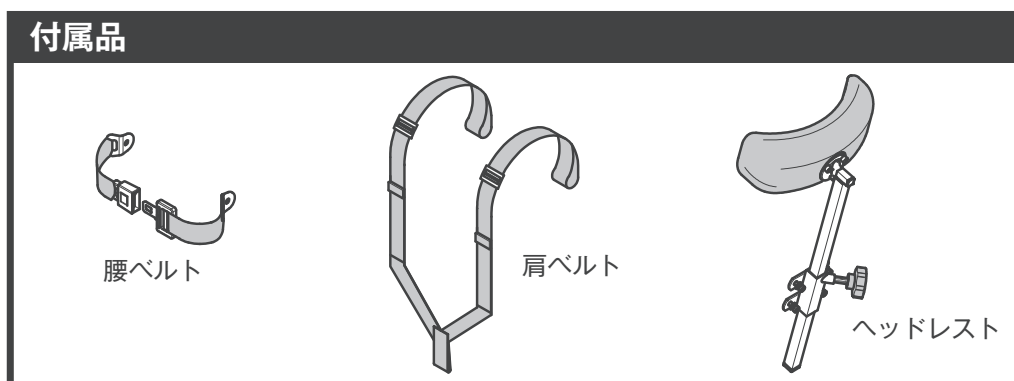
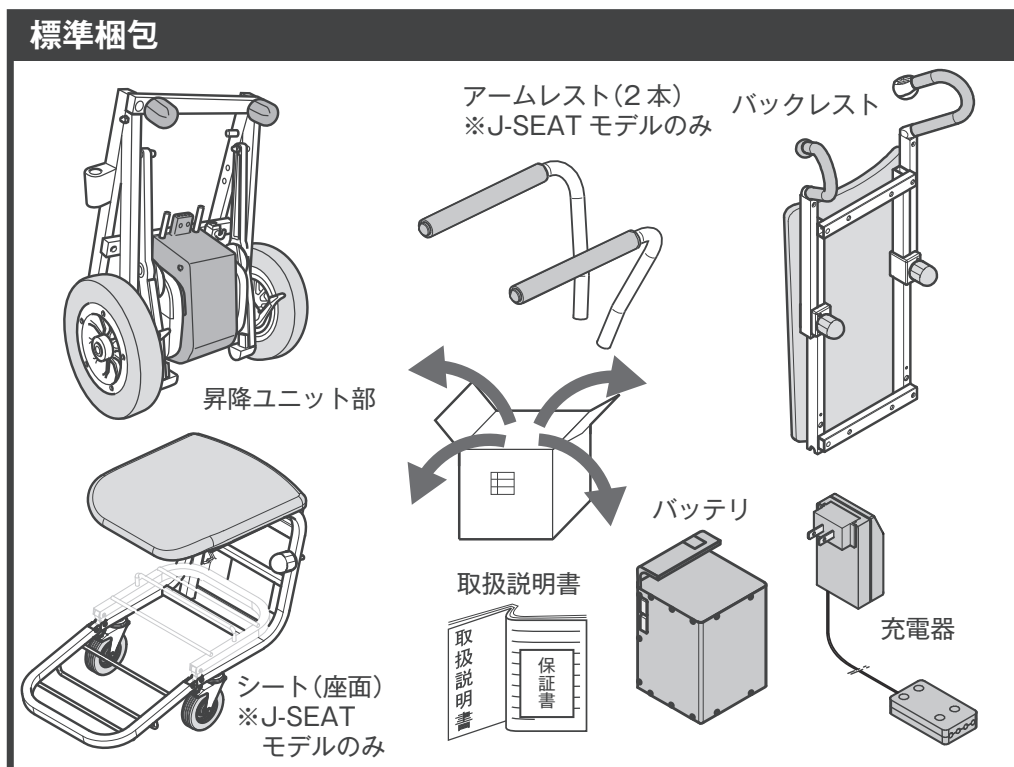
強制

ご使用前には、正常に動作することを必ずご確認ください。(P.31 参照) もし、正常に動作しない場合は、直ちにご使用を中止して販売店にご連絡ください。

4. ご使用になる前の確認

1 梱包内容

標準梱包には、付属品は含まれていません。ご要望があった場合のみ別途有償で梱包いたします。



要 点

ご使用前には、バッテリーを満充電にしてからご使用ください (P.47 参照)。

2 本体の組立方法および分解方法

本体は各ユニットを取り付けて固定ノブで固定することで、簡単に組み立てることができます。また、分解も簡単にできます。



注意

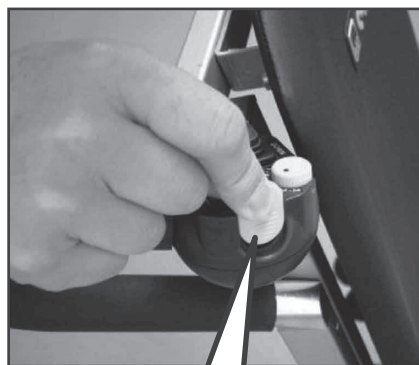
- 各ノブは、しっかり締め付け、各部が固定できているかご使用前に必ず確認してください。
- 組立・分解時には、必ず電源を切り、駆動機構部分などではなくフレームパイプ部分をしっかりと持ってください。
手を挟んだりしてケガをする恐れがあります。

● 操作キー

取り付けるときには、操作キーを正しい方向に持って、所定の位置にしっかりと押し込んでください。

取り外すときには、操作キーを持って上の方に引っ張ってください。

なお、操作キーには裏表はありません。



注意

挿入方向を確かめてから、操作キーを挿入部に最後まで押し込んでください。

操作キーが浮いた状態などになると、動作不良や途中で外れて紛失する原因になります。



要点

万が一、操作キーを紛失された場合のために予備の操作キーをつけています。本体に装着する操作キーとは別の場所に大切に保管してください。

● バックレスト

■ 取付け

昇降ユニット上部のガイドピンに引っかけるようにしてバックレストを取り付けます。バックレスト固定ノブをしっかりと締めます。

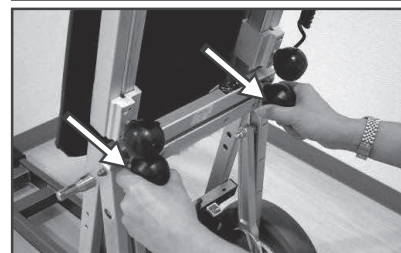
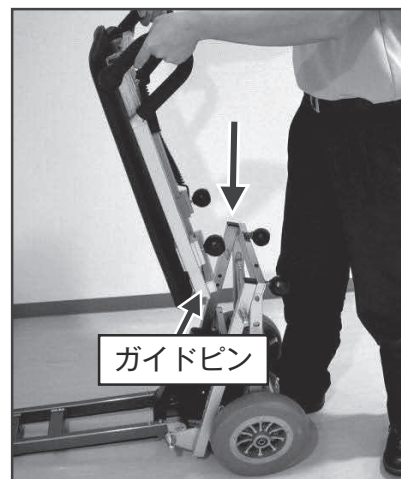


要 点

バックレストがしっかりと固定されているか必ず確認してください。

■ 取外し

バックレスト固定ノブを緩め、バックレストを取り外します。



● 電源ケーブル

取付け・取外しは電源を切ってから行ってください。

■ 取付け

駆動ユニット上部のソケットに電源ケーブルのコネクタをしっかりと差し込み、ソケットについている止め具で固定します。



注 意

- 電源ケーブルは、確実にロックしてください。昇降中などに外れて、突然停止する恐れがあります。
- ソケットやコネクタが雨などで濡れないように注意してください。濡れると回路がショートし、故障の原因となります。

■ 取外し

駆動ユニット上部についている止め具を外して、ソケットから電源ケーブルのコネクタを取り外します。

● バッテリー

取付け・取外しは電源を切ってから行ってください。

■ 取付け

駆動ユニット上部のガイドピンに沿って、バッテリーを "カチッ" と音がしてロックがかかるまでしっかりと奥まで差し込みます。



注意

バッテリーが確実にロックされて抜けないことを確認してください。

運搬時に外れたりしてケガをする恐れがあります。



■ 取外し

バッテリー上部のロック解除ボタンを押しながら、バッテリーを取り外します。



注意

バッテリーを取り外すときは、上部にあるフレームに手を当てないようにゆっくりと行ってください。

フレームに手を当ててケガをする恐れがあります。



要点

- 手の甲が下を向くように取っ手を持ってください。
- もう片方の手を右図のように添えてください。

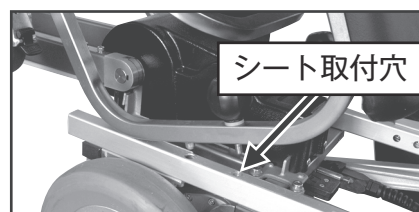
● シート（座面） ※J-SEAT モデルのみ



取付け・取外しは本体を寝かせた状態で行ってください。
立たせた状態で行うと、シートが外れたときに本体が転倒しケガをする恐れがあります。

■ 取付け

昇降ユニットのシート取付穴にシートの突起部を合わせます。
シート固定ノブをしっかりと締めます。



シートがしっかりと固定されているか必ず確認してください。



■ 取外し

シート固定ノブを緩め、昇降ユニットからシートを取り外します。

● アームレスト ※J-SEAT モデルのみ

■ 取付け

昇降ユニットの両サイドにアームレストをしっかりと差し込みます。

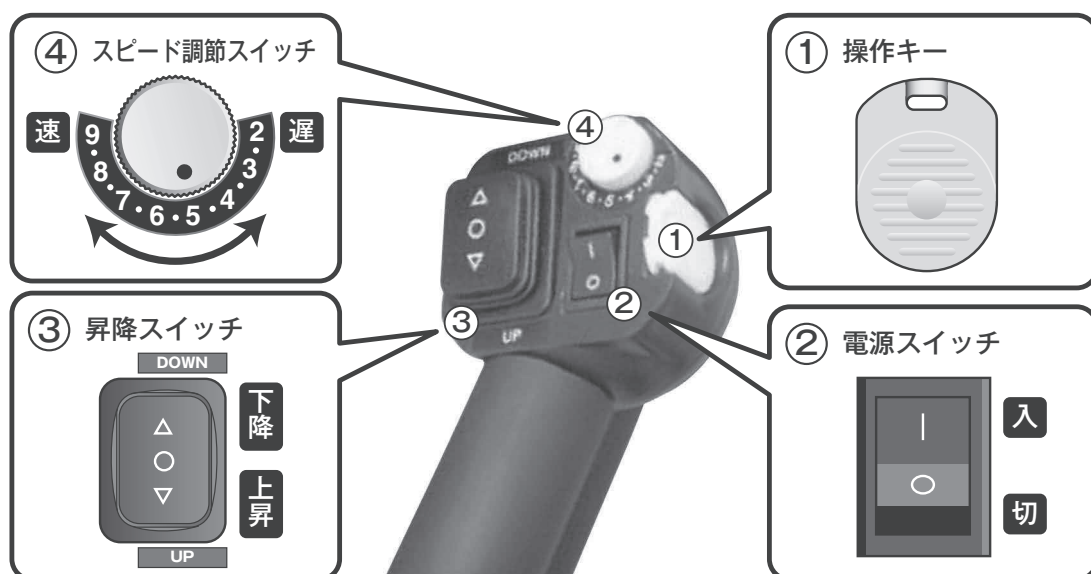
■ 取外し

昇降ユニットの両サイドからアームレストを矢印の方向に取り外します。



5. 各部の説明と取扱方法

実際の操作練習の前に、J-MAX のもっとも重要な構成部分を紹介します。



● 操作キー

操作キー①を操作スイッチ部の所定の位置に取り付けることによってはじめてご使用になることができます。

ご使用時に、操作キーを操作スイッチ部に正しく取り付けてください。

ご使用にならないときには、操作キーを取り外して操作講習を受けた方が管理してください。



操作キー



要 点

操作キーが取り付けいていない状態でも電源は入りますが、昇降スイッチを押しても動作はしません。



警 告

本製品の操作講習を受けていない方は操作できません。

操作講習を受けた方は、子供や操作講習を受けていない方が使用できないように操作キーをしっかりと管理してください。

● 電源スイッチ

電源スイッチ②を操作することにより、電源を ON/OFF することができます。
長い間使用しない場合は、電源スイッチ②を必ず切ってください。

J-MAX はオートオフ機能を備えており、電源をつけたままでも 5 分間程度使用しなければ、自動的に切れるようになっています。
その場合、一度電源を切ってから再度電源を入れてください。

● 昇降スイッチ

昇降スイッチ③を操作することにより、階段を昇降することができます。

● スピード調節スイッチ

スピード調節スイッチ④を操作することにより、お好みのスピードに調整して階段を昇降することができます。



要 点

- 操作する方の熟練度や使用状況に応じてスピードを調整して使用してください。搭乗者が乗っている場合は、必ずスピード設定「5」以下でご使用ください。
- スピードを速くしすぎると、昇降フットが着地したときの衝撃が大きくなり、バランスがとりにくくなったり搭乗者が不快に感じたりしますので、できる限り低速でのご使用を推奨いたします。

● 電源表示灯の不具合表示

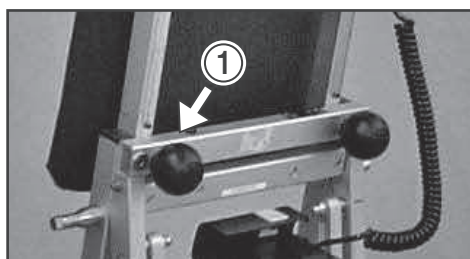
電源の状態と、機器の不具合状態を表示します。

スイッチを入れて電源表示灯①が緑色に点灯した場合、正常に使用することができます。

2.5 秒間隔に数回点滅する場合（1 回の点滅時間は 0.5 秒間）は、以下の不具合が考えられます。

もし不具合が発生した場合は、P.58,59 をご参照のうえご対応ください。

点滅の回数	不具合の内容
1	最大荷重（120kg）超過
2	バッテリーの充電不足
3	バッテリーの過充電
4	昇降スイッチの故障または断線
5	モータの故障
6	基板の故障

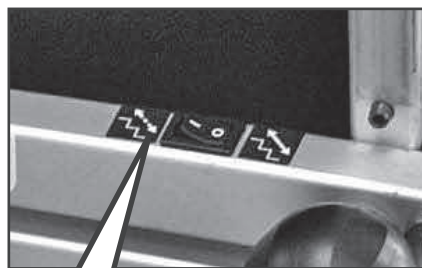
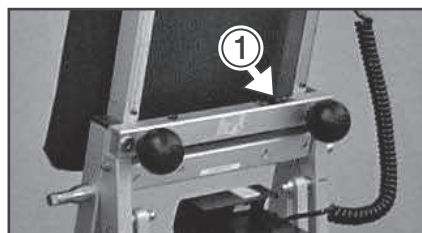


● モード切替スイッチ

昇降ユニット上部にあるモード切替スイッチ①により、階段を 1 段ずつ昇降するモード（シングルステップモード）と連続で昇降するモード（連続モード）の選択ができます。

シングルステップモードにすると 1 段昇降するごとに停止しますので、次の階段の端まで移動して再度昇降スイッチを押します。

初心者の方や訓練するとき、特にらせん階段を昇降するときには、シングルステップモードにします。



要 点

操作する方の熟練度や使用状況に応じてモードを切り替えて使用してください。

● 昇降アーム

以下の場合、昇降スイッチを操作し昇降アームを最上位置まで引き上げてください。

- 平地やスロープでの移動
- セーフティブレーキのチェック
- 昇降開始前



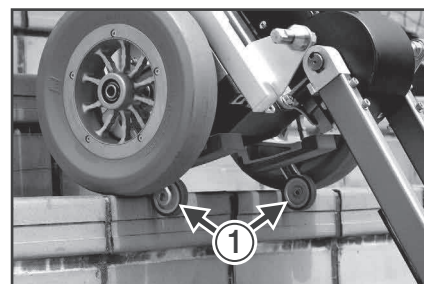
要 点

シングルステップモードを使用すると、最上位置に正確に動かすことができます。

● セーフティブレーキ

タイヤの内側にセーフティブレーキがあります。

階段の端に移動すると、セーフティブレーキのコロ①が端から落ちてタイヤにブレーキがかかり、転落を防止します。



警 告

J-MAX のご使用前には必ずセーフティブレーキをチェックしてください。

(P.31,55,56 参照)

● ハンドル

ご使用時にハンドル高さを合わせることで、階段や坂を安全かつ快適に昇降することができます。



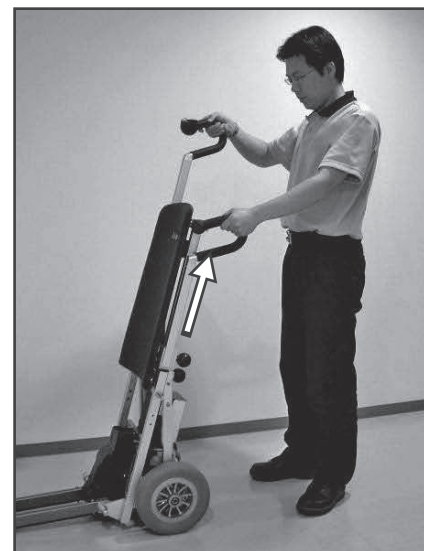
要 点

昇降時は、ハンドル高さを操作する人の肩の高さに合わせます。



注 意

ハンドル調整後は、ハンドル高さ固定ノブがしっかり締まっているか必ず確認してください。



● 駐車ブレーキ ※J-SEAT モデルのみ

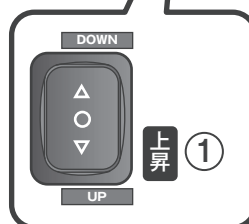
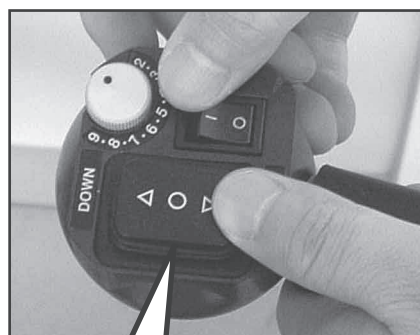


- 駐車するときは、必ず平地で行ってください。
- 人が乗り降りするときは、駐車ブレーキを必ずかけてください。
- 昇降スピードは最低速度にし、ゆっくりと動作させてください。
搭乗者が転落する恐れがあります。
- バックレストに寄りかかったりぶつかったりしないでください。
本体が転倒しケガをする恐れがあります。
- 駐車時の昇降アーム位置は、必ず駐車位置シールの矢印が向かいあうようにしてください。
本体が不安定になり、転倒する恐れがあります。

平地で停止するときに、昇降フットを地面に接地することにより本体が動かないようにするための方法です。

操作は、以下の手順で行ってください。

- ① 電源を OFF にします。
- ② スピード調節スイッチを最低速度に設定します。
- ③ 昇降スイッチを上昇方向（UP 側）に押したまま電源をいれます。①
- ④ セーフティアームのブザー音が消えたことを確認します。
- ⑤ 昇降スイッチから手を離します。



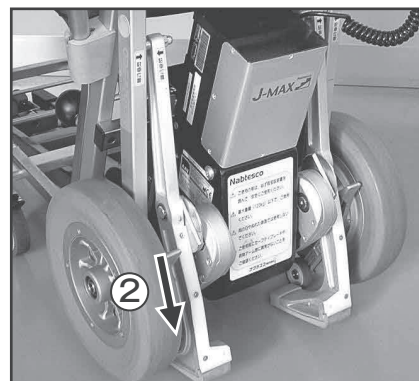
- この状態で、ロック解除モードに入り、昇降スイッチを使うことができます。
- ロック解除モード時、本体を傾けたり、10 秒以上経過したりすると、通常モードに戻ります。

- ⑥
- 昇降スイッチを上昇方向（UP 側）に押し、昇降アームを伸ばします。②
 - 駐車位置シールの矢印が向かい合うまで昇降アームを操作します。③

- ⑦ 電源を OFF にします。

- ⑧ 左右のキャスタのロック部を押し、キャスタをロックします。④

駐車ブレーキを解除するときは、同様にロック解除モードに切り替えて、昇降スイッチを下降方向（DOWN 側）に押して操作してください。



● アームレスト ※J-SEAT モデルのみ

右図のようにアームレストを回転させたり、完全に取り外すことができます。



要 点

搭乗者を乗せたり降ろしたりするときは、図のように回転させるか、完全に取り外してください。



警 告

ご使用時は、必ずアームレストを取り付けてしっかりと固定してください。



● フットレスト ※J-SEAT モデルのみ

右図のようにフットレストを折りたたむことができます。

人が乗ったときはフットレストを前方に開き、足を乗せて使います。



注 意

折りたたみの際は、手を挟まないようにご注意ください。



6. 操作方法

1 ご使用前の確認と安全の手引き

下記の内容をご確認いただき、必ず守ってご使用ください。

● ご使用前の確認について

■ してはならないこと

-
- 最大荷重（120kg）を超える使い方をしないでください。
 - 異常があるときは使用しないでください。
昇降中に何か異常を感じたら、すぐに昇降スイッチを離して、安定位置に戻るか非常停止（P.32 参照）してください。
 - 人の搬送以外には使用しないでください。
-

■ 確認すべきこと

-
- 動作前に以下のことを確認してください。
搭乗者が保護帽もしくは、弊社指定の条件を満たしたものを着用している
搭乗者がバックレストに背中をつけて完全に座っている
電源ケーブル・シートベルト（付属品）・衣服などが駆動機構部分に挟まれていない
 - ご使用前には必ずセーフティアーム、角度センサ、セーフティブレーキのチェックをしてください（P.31, 55, 56 参照）。
ブレーキ部分には石鹸水や油性のクリーナーなどを付着させないでください。異常があるときにはいかなる状況でも使用を中止してください。
 - ご使用前に、必ずシングルステップモードの設定状態をチェックしてください。（P.23 参照）
 - ご使用前にはバッテリーが満充電であることを確認してください。
走行途中で停止したり、バッテリーの早期劣化につながります。
 - ご使用時は、必ず各取付部をしっかりと固定してください。
 - 電源ケーブルは、確実にロックしてください。
昇降中などに外れて、突然停止する恐れがあります。
 - 車いすを装着する場合は、確実に固定されているか確認してください。
-

● 操作（操作者を含む）について

■ してはならないこと

-
- 本製品の操作講習を受けていない方は操作できません。
また、ご使用前には操作方法に十分に慣れてからご使用ください。
 - 踊り場などから傾斜させずに、階段に進入することを禁止します。
転落する恐れがあります。
 - 傾斜させずに、昇降スイッチを押さないでください。
搭乗者が転落する恐れがあります。
 - ご使用時には、ハンドル部などにかばんなどをかけないでください。
思わぬ事故につながる恐れがあります。
 - ご使用前に体調が優れないときは使用しないでください。
操作を誤って事故につながる恐れがあります。
 - 搭乗者を移乗させるときは、搭乗者が座る前にバックレストにもたれたり後方向に押したりしないでください。本体が転倒する恐れがあります。
 - 車いすを装着したままで平地走行をしないでください。
段差などにひっかかり思わぬ事故につながります。
-

■ 確認すべきこと

-
- 操作するときには、必ず滑りにくい靴を履いて、必ず両手で行ってください。
 - 階段を昇降するときには必ず両輪を階段の端まで直角に移動させてから行ってください（斜めに進入しないでください）。
階段を踏み外して、転落する恐れがあります。
 - 各ノブは、しっかりと固定できているかご使用前に必ず確認してください。
 - 搭乗者が昇降中に動くと大変危険ですので、昇降中は動かないように十分にご注意ください。
シートベルトをご使用ください。
 - 長期間使用しなかったときは、ご使用前に取扱説明書をよくお読みになり、再度練習をしてからご使用ください。
バランス感覚を忘れることなどから事故につながる恐れがあります。
 - 操作する人は、17kg のものを持ちあげられ、後ろ向きに階段を昇ることができする必要があります。
 - 人の乗り移り時や駐車時は必ず車いすの駐車ブレーキをロックして、昇降アームを出して本体を確実に固定してください。
 - 人を乗せて昇降する前に、必ず速度を確認してください。
-

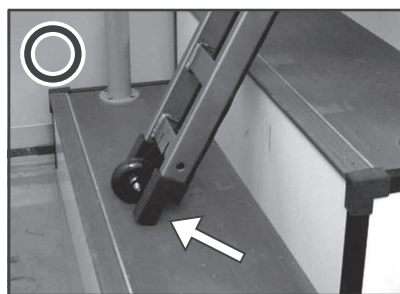
● ご使用場所について

■ してはならないこと

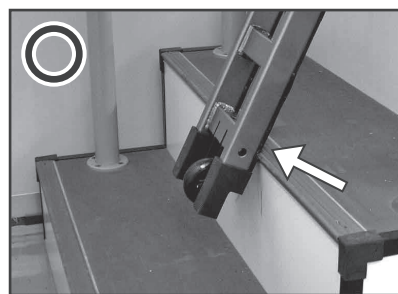
-
- 雨の日や濡れた路面では使用しないでください。
 - 急な坂では使用しないでください。
転倒する恐れがあります。
 - エスカレータや動く歩道では使用しないでください。
思わぬ事故につながる恐れがあります。
-

■ 確認すべきこと

-
- ご使用前には下記のご使用環境条件を確認してください。
条件を満たさないときは使用しないでください。
 - ・ 階段の段差高さ：21cm 以下、踏み面：21cm 以上
 - ・ 踏み面が平らであること
 - ・ 階段の端が大きく欠けていないこと
 - ・ 踊り場はバランスを保つだけの十分なスペースがあること
 - 段差（小さい段差も含む）やグレーチング（網蓋）に進入するときは必ず後ろ向きで走行してください。
 - セーフティアームが有効に働き、前方への転落を防止できるかを搭乗者がいない状態で確認してください。もし、セーフティアームが有効に働かない場合は、使用を控えるか十分に注意を払って操作してください。（P.13 参照）



アームの先端が左右ともに階段に接地している状態



アームが階段へりに左右ともにあたっている状態

● ご使用前のセーフティアームと角度センサの確認

安全にご使用いただくために、ご使用前には平地でセーフティアームと角度センサが正常に作動するかを必ず確認してください。

なお、搭乗者がいない状態で確認してください。

- ① 電源を入れて、ブザー音がすることとハンドルがブルブルと振動することを確認します。
- ② バランス状態に本体を傾けて、ブザー音とブルブルの振動が消えることを確認します。
- ③ 本体をゆっくりと前方に傾けていくと、ブルブルと振動がして、ブザーがなり、セーフティアームがロックすることを確認します。

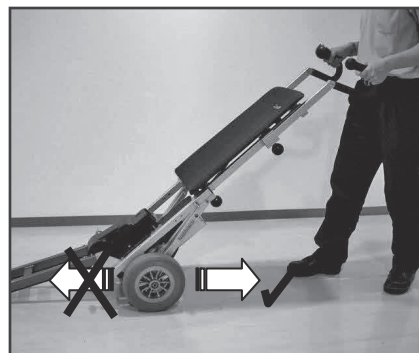
以上の確認で問題がなければ、昇降動作を行なってください。

もし、異常があるときはいかなる場合でもご使用を止めてください。

● ご使用前のセーフティブレーキの確認

安全にご使用いただくために、ご使用前には平地でセーフティブレーキが正常に作動するかを必ず確認してください。

- ① ハンドルを持って、本体を 45 度以上傾けます。
- ② 前側に押したときに、セーフティブレーキが作動して前進しないことを確認します。
- ③ 後ろ側に引張ったときには、本体が後ろ側に動くことを確認します。



以上の確認で問題なければ、昇降動作を行ってください。

もし、異常があるときはいかなる場合でもご使用を止めてください。

● 非常停止方法

操作中に不安を感じた場合や、動作異常が発生した場合などの対処方法です。

- 1 非常時に J-MAX を階段上で横たえます。

セーフティブレーキの働きで J-MAX が転がり落ちるのを防ぎます。



2 平地走行・平地移動



警告

- 段差（小さい段差も含む）やグレーチング（網蓋）に進入するときは必ず後ろ向きで走行してください。ブレーキの損傷につながります。
- エスカレータや動く歩道では使用しないでください。思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 人の乗り移り時や駐車時は駐車ブレーキをご使用ください。
J-COMPACT モデル： 車いすの駐車ブレーキ。
J-SEAT モデル： 駐車ブレーキ（P.25 参照）。

J-COMPACT モデルで平地を走行するときは、基本的に車いすを本体から外して、車いすと本体を別々に走行（移動）させてください。そのうえで、車いすとして走行してください。

J-COMPACT モデル本体および J-SEAT モデル本体は、以下の要領で走行（移動）させてください。

- 1 電源を OFF にします。
- 2 ハンドルが一番下の位置になるように調整します。
- 3 昇降アームが地面から離れていることを確認します。
- 4 J-COMPACT モデル：ハンドルを持って後ろ向きに走行させます。
J-SEAT モデル： ハンドルを持って走行させます。



要点

- 坂道や平地を走行するときに本体を傾けすぎるとセーフティブレーキが作動して前に進めなくなります。
- 敷居などの段差をを通る場合は、後ろから引っ張るようにするほうが容易に進めます。

3 坂道走行



警告

- 急な坂では使用しないでください。
転倒する恐れがあります。
- 人の乗り移り時や駐車時は必ず車いすの駐車ブレーキをロックして、昇降アームを出して本体を確実に固定してください。

- ① 電源を OFF にします。
- ② ハンドルを操作する方の肩の高さに合わせ、調整します。
- ③ 昇降アームが地面から離れていることを確認します
- ④ ハンドルを持ち、駆動ユニットのケースの部分に足をかけて手前に引き、本体を傾けます。
- ⑤ 本体を傾ける角度を調整しながら、ブレーキ力を調整して、ゆっくりと走行します。



要点

- 下り坂では前向きに操作します。
ゆっくり下るためには、本体を少し余計に傾けてください。
セーフティブレーキによりブレーキ力が大きくなります。
- 上り坂では後ろ向きに操作します。
ゆっくり昇るために、本体を少し余計に傾けてください。



4 階段昇降



警告

- 踊り場などから傾斜させずに、階段に進入することを禁止します。転落する恐れがあります。
- 傾斜させずに、昇降スイッチを押さないでください。搭乗者が転落する恐れがあります。
- 各ノブは、しっかりと締まっているかご使用前に必ず確認してください。
- 練習のときは、坂や階段の真下に人がいないことを確認してください。
- ご使用前にはバッテリーが満充電であることを確認してください。走行途中で停止したり、バッテリーの早期劣化につながります。
- ご使用は、できる限り低速度でご使用ください。搭乗者も安心で、バランスを保ちやすいです。
- 車いすを装着する場合は、確実に固定されているか確認してください。



要点

最初にご使用いただくときは、昇降動作に慣れていただくために、下記の状態で必ず練習を行ってください。

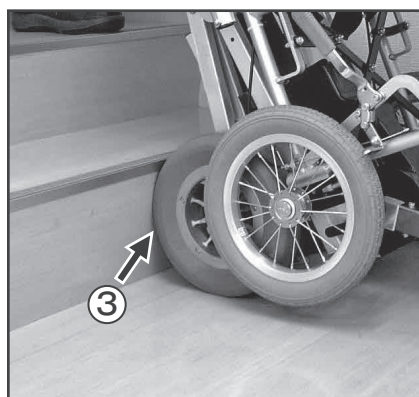
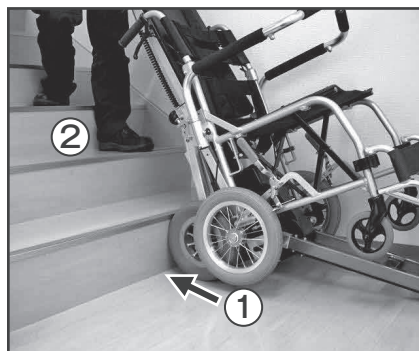
- 人を乗せない。
- 昇降スピードは最低速度に設定する。(P.22 参照)
- シングルステップモードにする。(P.23 参照)
- 2～3段を繰り返し練習する。

● 階段を昇る



ご使用前に必ずセーフティアーム、角度センサ、セーフティブレーキをチェックしてください。(P.31,55,56 参照)

- ① ハンドルを適切な高さに調節します。
(P.24 参照)
- ② 本体の電源を入れます。
- ③ 必要に応じて、シングルステップモードにします。(P.23 参照)
- ④ 自分の方に J-MAX を軽く傾けます。
(P.12 参照)
- ⑤ 昇降アームを最上位置にします。
(P.24 参照)
- ⑥ J-MAX を階段の端まで動かします。①
- ⑦ 操作する方は 2 ～ 3 段上ります。②



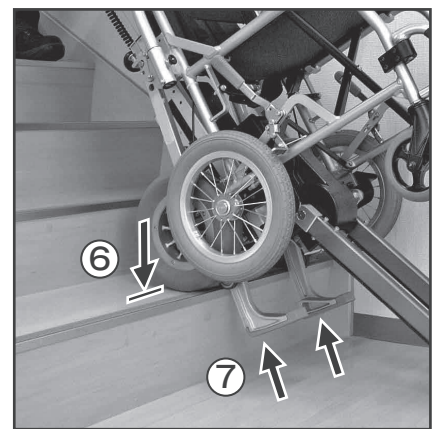
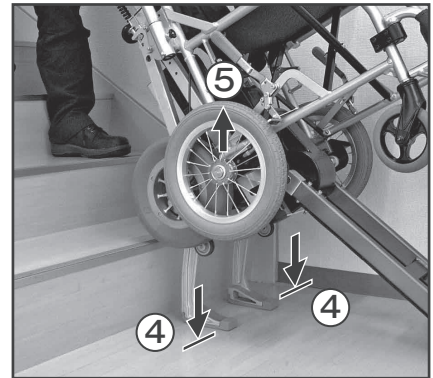
左右のタイヤが一番下の段についていること③を必ず確認してください。

この状態が本体が階段を昇るための最初の位置になります。

次に、昇る動作に入ります。

- ⑧
- まず、昇降スイッチを上昇方向（UP側）に押します。
 - 昇降ユニットの昇降アームが下方に動き、階段面につきます。④
 - その後、タイヤと本体が持ち上げられます。⑤
 - タイヤが上の段にのります。⑥
 - その後、昇降アームが引き上げられ⑦、最上位置にくるまでが一連の動作になります。

シングルステップモードで作動している場合、この時点で一連の動作が終わり、停止します。



- ⑨ 再び階段を昇るには、⑥ ⑦ ⑧ の動作を繰り返します。



要 点

昇っている間、本体を操作する方のほうに軽く引っ張ることで、昇降アームが引き上げられて前の段から外れたときに、タイヤを次の段の端まで動かしやすいになります。

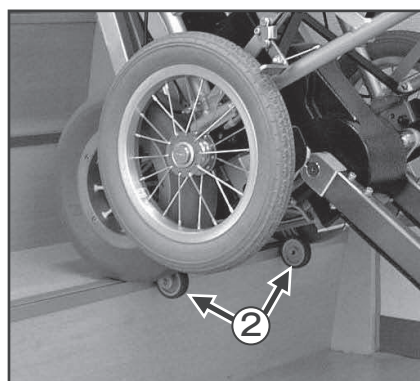
● 階段を降りる



警告

ご使用前に必ずセーフティアーム、角度センサ、セーフティブレーキをチェックしてください。(P.31,55,56 参照)

- ① ハンドルを適切な高さに調節します。
(P.24 参照)
- ② 本体の電源を入れます。
- ③ 必要に応じて、シングルステップモードにします。(P.23 参照)
- ④ 自分の方に J-MAX を軽く傾けます。
(P.12 参照)
- ⑤ 昇降アームを最上位置にします。
(P.24 参照)
- ⑥ J-MAX を傾けたまま階段に進入して、セーフティブレーキが作動する階段の端まで動かします。①



警告

左右のタイヤとも階段の端に移動してください。



要点

セーフティブレーキについているコロ②が階段の端から落ち込むと、メインのタイヤをロックしますので、本体が転がり落ちることはありません。

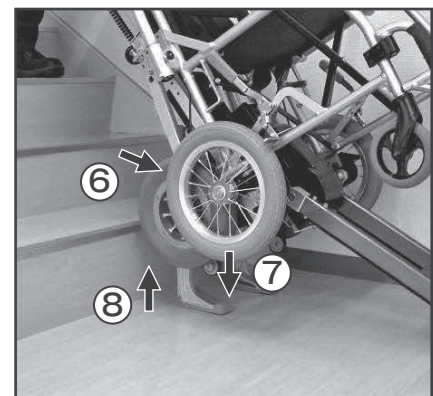
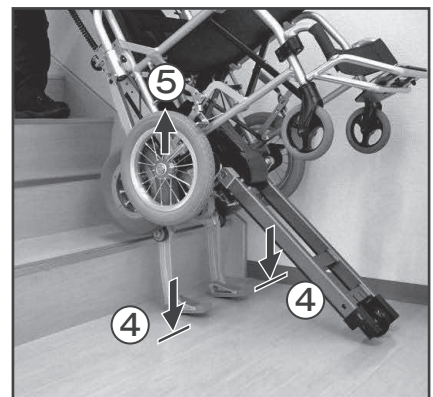
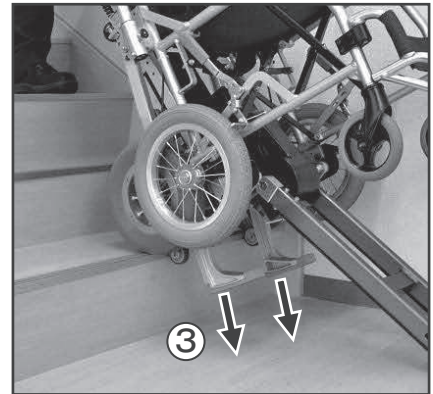
この状態が本体が階段を降りるための最初の位置になります。

次に、降りる動作に入ります。

- ⑦** • まず、昇降スイッチを下降方向（DOWN 側）に押します。
- 昇降ユニットの昇降アームが下方に動きます。③
 - 昇降アームが下の階段面につきます。④
 - タイヤと本体が上の階段面から離れます。⑤
 - タイヤと本体が前方に移動し⑥、下降します。⑦
 - タイヤが次の段につき、昇降アームが階段面から離れ⑧、最上位置にくるまでが一連の動作になります。

シングルステップモードで作動している場合、この時点で一連の動作が終わり、停止します。

- ⑧** 再び階段を降りるには、⑥ ⑦ の動作を繰り返します。



● 昇降を終える



- 昇降を終えるときは、本体および装着している車いすが水平状態で着地できる十分な広さがあることを確認してください。
転落などの事故につながります。
- 階段の途中では、むやみに電源を切らないでください。
電源が切れている状態では、セーフティアームが作動しませんので、もし前方にバランスを崩してしまったときにはセーフティアームがロックせず転落してしまいます。

- ① 昇降アームを最上位置にします。
- ② 本体の電源を切ります。
- ③ 本体を前方にゆっくりと戻します。①



- 踊り場は本体と操作者が同じ段に乗っているために、最もバランスを崩しやすい状態になります。
安定位置でバランスさせるように十分に注意して操作してください。
- らせん階段で使用するときは、あらかじめ人を乗せない状態で無理なくご使用ができるかを十分に確認してください。
そのうえで、シングルステップモードにして低速で昇降してください。
なお、セーフティアームは完全に機能しませんので、可能な限り使用しないでください。
- 階段のエッジ部に滑り止めがついている階段では、下るときに前に押しにくいことがあったり、押しても後ろ側に戻ってくることがあったりします。
前方にしっかりと押してください。
押し方が弱いと昇降アームがその場で昇降してバランスを崩して転倒などにつながります。

要点

- 本体はオートオフ機能を備えており、電源をつけたままでも 5 分間程度使用しなければ、自動的に切れるようになっています。
一度電源を切ってから再度電源を入れてください。
- 昇降途中でバッテリーがなくなっても階段を下りることはできます。
一度電源を切ってから再度電源をいれて階段を下りてください。
ただし、バッテリーや荷重の状態によっては、下りられないことがあります。

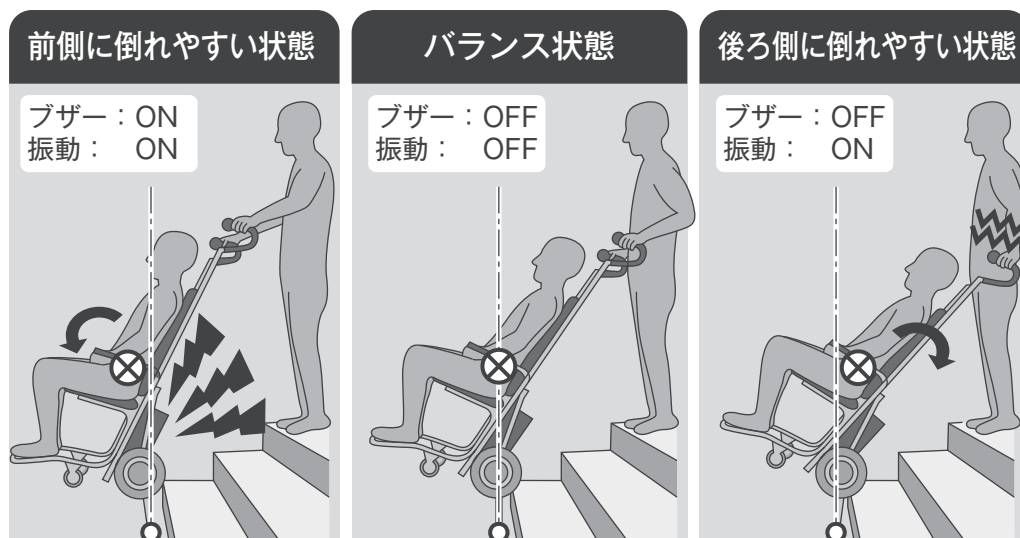
5 ガイドブザー機能と音量調整(機能 ON/OFF)方法

機能

ガイドブザー機能は、操作時に推奨するバランス状態から外れると、従来のハンドルの振動だけでなく、ブザーも鳴らしてお知らせする機能です。

前方にバランスが外れたときにブザーが鳴ります。

ガイドブザーの音量は調整可能で、機器操作に悪影響を及ぼすと考えられる場合、OFF にすることも可能です。



⊗ : 重心位置

○ : 昇降フットの接地位置

項目	ブザー鳴動パターン
セーフティ アームロック	ピーーーーーー ...
ガイドブザー	ピピピピピピピ ...

- ガイドブザーを OFF にしても、ハンドルは振動します。
- ガイドブザーを OFF にしても、セーフティアームがロックしたときブザーは鳴ります。
- セーフティアームがロックしたときのブザー音量は調整できません。

● 従来品との区別方法

電源スイッチを入れたときの起動音で区別します。



電源ONするとブザーが単音鳴動

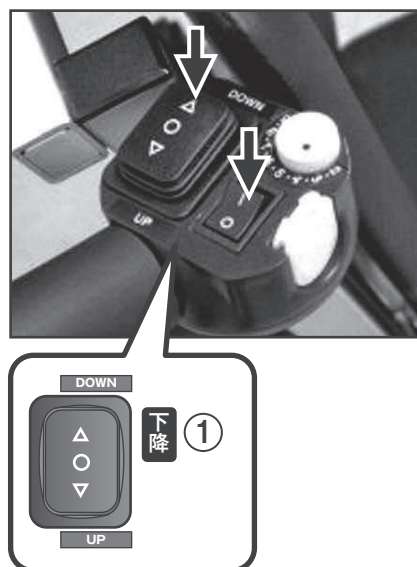


電源ONするとブザーが3音鳴動
(♪ミ ♪ファ ♪ソ)

● ガイドブザー音量調整（機能 ON/OFF）方法

ガイドブザーの音量調整および機能の ON/OFF は以下の手順で行ってください。

- 1 電源を OFF にします。
- 2 車体を平地に駐車します。
- 3 昇降スイッチを下降方向（DOWN 側）に押した状態で電源を ON にします。昇降スイッチはブザー 2 音（♪ミ、♪ソ）が鳴るまで押し続けてください。①
- 4 断続的に鳴るブザーを聞きながら昇降スイッチで音量（0 ～ 8）を調節します。ガイドブザーを OFF にする場合は、音量を 0 にしてください。
 - UP 側： 音量 +1
 - DOWN 側： 音量 -1
- 5 音量が決まったら昇降スイッチから手を離し、5 秒間待機します。ブザー単音が 2 秒鳴ると音量調節完了です。





警告

人を乗せた状態で音量調節しないでください。



注意

周辺環境、操作音による聞こえ具合、搭乗者への影響などを踏まえて適切に音量を調節してください。

機器操作に悪影響を及ぼす場合はガイドブザーを OFF にしてください。















要点

- 音量の調整完了後は通常使用可能です。
- 音量調整値は保存されています。電源を入れなおした後も有効です。
- 音量調整が完了する前（ブザーが鳴る前）に電源を OFF にすると、設定は保存されません。

● ブザー・ハンドル振動による不具合通知

バランス状態にしてもブザーや振動が続く場合は不具合が発生しているおそれがあります。以下の処置内容に従って対応してください。

ブザー	ハンドル振動	不具合内容	処置
 ピー、  ピー、…	なし	バッテリー 残量低下	充電してください。
 ピッピッ、  ピッピッ、… ※ 電源 ON 時に 10 回のみ	 ブッブッ、  ブッブッ、… ※ 電源 ON 時に 10 回のみ	センサ、 ブザー、 振動系統の 故障	セーフティアームと角度センサを確認してください。 (P.31) 異常がなければ使用可能です。 何か異常を感じる、または電源を入れるたびに状況を繰り返す場合は、販売店にご連絡ください。
 ピッピッピッ、  ピッピッピッ、…	 ブッブッブッ、  ブッブッブッ、…	セーフティ アーム制御 系統の故障	電源を入れなおしてください。 状況が変わらなければセーフティアーム制御に異常が生じています。 直ちにご使用を中止して販売店にご連絡ください。

※ … 鳴動、… 停止

7. 車いすの装着 ※J-COMPACT モデルのみ

● 車いすとの装着 ※J-COMPACT モデルのみ

搭乗者を乗せて階段を昇降するときには、専用車いす(J-COMPACT)を装着します。



警告

- 車いすの装着は、必ず平地で行ってください。
- 車いすを装着するときは、必ず車いすの取扱説明書の指示に従って駐車ブレーキをかけてください。
- 取付け後、操作する前には確実にロック部品が所定の位置に取り付けられていることを確認してください。



注意

- 着脱ピンの取付け、取外しのときには、指を挟んだり、力を入れすぎて手をぶつけたりしないように注意してください。
- 車いすを装着した状態で搭乗者がいない場合は、装置が不安定になり、J-MAXのタイヤが地面に着地するまで後側に傾きますので、十分に注意してください。

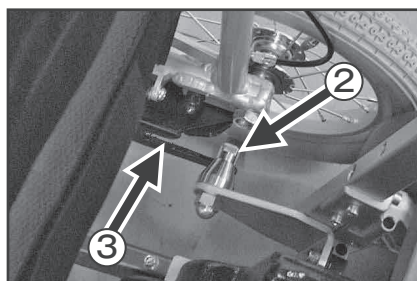
■ 取付け

- ① 本体を少し後方へ傾けます。
- ② 車いすの後方位置へ進入させ①、案内ピン②を車いすの下側ガイド③の奥まで入れます。



要点

入りにくいときには、駆動ユニットの後ろ側を足で軽く押すと本体が動き車いすに近づきやすくなります。



③ 本体上側を車いすに寄せて④、固定ピン⑤を車いすの上側ガイド⑥の奥まで入れます。

④ 左右の着脱ピン⑦を保管穴⑧から抜いて、ロック穴⑨に挿入します。



要 点

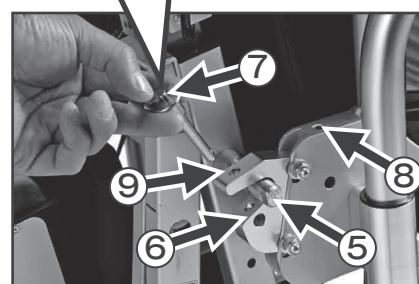
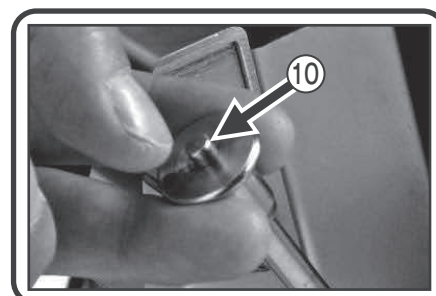
着脱ピン⑦は、フランジ中央のボタン⑩を押すと、ロック部が外れて取外しができるようになります。



警 告

着脱ピンは、必ず左右両方を穴の奥まで挿入してください。

挿入が確実にできていないと、ピンの損傷や走行中に外れて転落事故の原因となります。



■ 取外し

① 本体上部を前に軽く抑えながら、左右の着脱ピン⑦を抜き、保管穴⑧に挿入します。

② 本体上側を手前に寄せて傾けて、上側ガイド⑥から固定ピン⑤を外します。

③ 本体のハンドル部を両手でもって手前に引き寄せて、下側ガイド③から案内ピン②を外します。



要 点

案内ピンが外しにくいときは、ハンドル部の下側を両手で持って地面に平行に引き寄せてください。

8. バッテリーの特徴と充電方法



注意

- バッテリーの+と-を針金などで接続したり、金属製品と一緒に持ち運んだり、手や物で触ったりしないでください。
- バッテリーは取っ手をきちんと持ち、運搬してください。
- バッテリーと充電器は、水がかかるところや湿気の多いところ、および埃が多いところには保管しないでください。
- 充電中にバッテリーや充電器の上や近い場所に物を置かないでください。
- バッテリーはご使用後毎回充電してください。
容量が少ない状態にすると早期劣化の原因になります。
- ヒューズは指定の種類のもの以外は使用しないでください。
- 指定の充電器以外では充電しないでください。
また、この充電器を J-MAX 以外のバッテリーの充電に使用しないでください。
機器の故障や火災の原因になります。
- AC コードなどのコード類は、コードを持たず、プラグ部を持ってください。
- 充電は、平坦で風通しのよいところで行ってください。
(推奨温度：5℃～35℃)
- バッテリーの長期保管時は、1 か月に 1 回を目安に充電を行ってください。

1 バッテリーの特徴

● 鉛蓄電池

バッテリーケースの中には 2 つの 12V/5Ah の鉛蓄電池が入っています。このバッテリーは密閉式のメンテナンスフリーバッテリーです。

鉛蓄電池の耐久性は充電と使用サイクルによって決まります。

常に満充電の状態で使用すれば 1000 回以上使用（充放電）できますが、完全に使い切ってから充電する使い方では 200 回程度の使用回数になります。

完全に使い切ってしまうことはバッテリーの容量を減らすだけではなく、耐久性を悪くしてしまいます。完全に使い切ってしまうのを避け、使用後はできるだけすぐに再充電してください。

満充電のバッテリーが通常よりも早くなくなる場合は、使用の限界です。新しいものに交換してください。

古くなったバッテリーは、販売店もしくは当社まで返却してください。



要点

バッテリーの寿命は、使用状況や充電環境によって異なります。

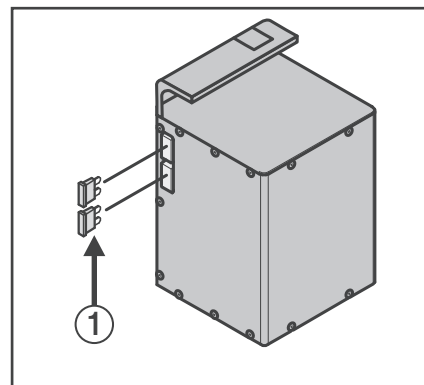
● ヒューズ

バッテリーにはカバーで保護されたヒューズ①が2個ついています。

ヒューズを取り替える場合は、カバーを取り外して、ヒューズ①を取り出し、新しいものと交換してください。



交換の際は必ず指定の種類のものをご使用ください。



● バッテリーの保管方法

- バッテリーは、使用しない状態でも劣化します。
できるだけ早く使用してください。
- 湿度と温度の低い場所に保管してください（推奨温度：0℃～40℃）。
- バッテリーを長期保管する場合は、満充電で保管してください。自己放電による影響が緩和されます。また、1か月に1回を目安に充電を行ってください。
- バッテリーの長期保管後は、使用前に再充電してください。

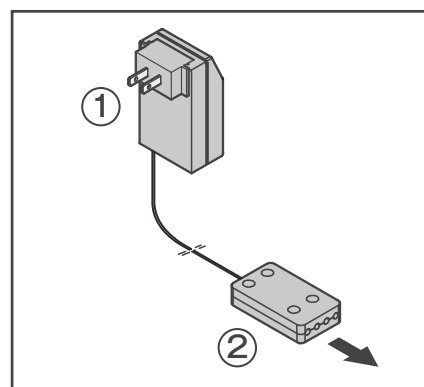
2 バッテリーの充電方法

● 充電器

標準装備として充電器が1個ついています。
充電ケーブルのプラグ①を家庭用のコンセント（100V）に差し込み、もう一方のコネクタ②をバッテリーパックのソケットに差し込むことでバッテリーの充電ができます。

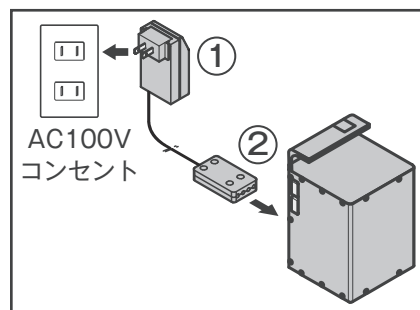


この充電器は、充電完了後にコンセントを差したままでも、過充電にならないようにする機能（保持充電機能）を備えています。



● バッテリーの充電方法

- ① 電源を切って、駆動ユニットからバッテリーを取り外します。(P.19 参照)
- ② 充電器のコネクタ②をバッテリーのソケットに差し込みます。
- ③ プラグ①を家庭用コンセント（100V）に差し込み、バッテリーを充電します。



要 点

充電時間は、約 8 ～ 10 時間を目安としてください。
ただし、バッテリーの使用状況や充電環境によって異なります。



警 告

「充電が 12 時間を超えても完了しない」「バッテリーが触り続けられないほど熱くなる」場合は直ちに充電を中止してください。漏液や発火などの危険性がありますので、新しいものに交換してください。

● 充電器の表示内容

下表のように充電器の表示ランプが充電の状態を示します。

表示ランプ	バッテリーの状態
橙色	充電中
緑色	充電完了。保持充電中。

9. 付属品

1 腰ベルト ※J-SEAT モデルのみ

搭乗者が昇降中に安定して座ってられるように搭乗者の腰の部分を保持するベルトです。



搭乗者が昇降中に動くと大変危険ですので、昇降中は動かないように十分にご注意をお願いします。

シートベルトをご使用ください。

● 組付け方法

腰ベルトの組付けは必ず販売店または当社にご依頼ください。

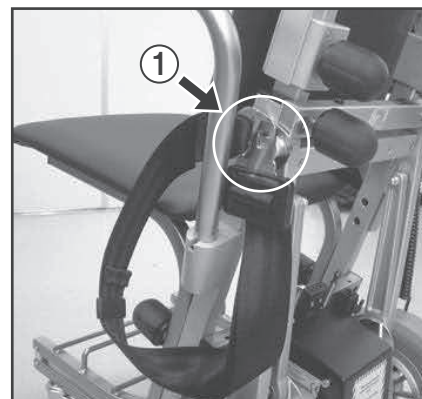
● 使用方法



ご使用にならないときは、昇降機構部にバックルやベルト部分が挟まらないように注意してください。

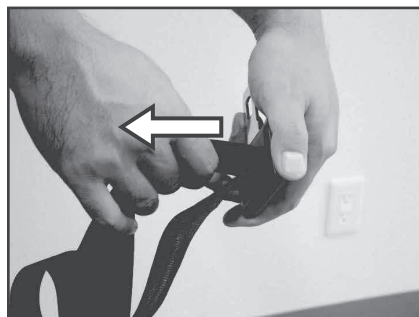
昇降機構部に挟まり機器の故障につながります。

ご使用にならないときは、右図のように金具を磁石のついた①の部分に止めておくか、またはシート側で左右のバックルをロックしておいてください。

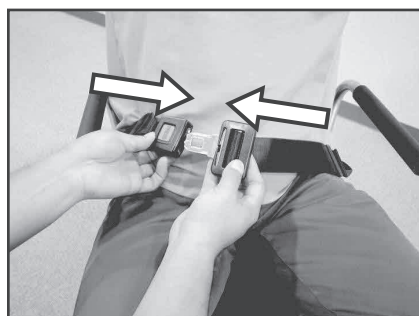


■ 取付け

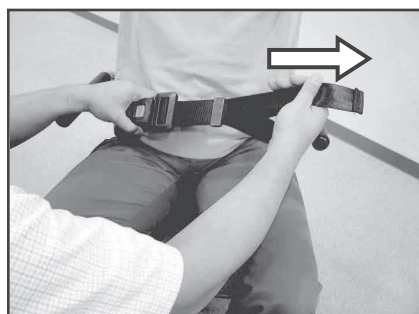
- ① 搭乗者の方に深く腰掛けていただきます。
ベルト部分を緩めて少し長めに伸ばします。



- ② 左右のバックルを“カチッ”というま
でロックします。



- ③ 搭乗者に合わせてベルトを締めて調整
します。



腰ベルトは、搭乗者の骨盤のあたりで固定するとしっかりととまります。

■ 取外し

バックル部分の赤いボタンを押して、ロックを解除します。

2 肩ベルト

車いす側の腰ベルトと一緒に使用するもので、特に搭乗者が座位を保持することが困難なときに腰の部分とあわせて肩の部分も保持するベルトです。



搭乗者が昇降中に動くと大変危険ですので、昇降中は動かないように十分にご注意をお願いします。

シートベルトをご使用ください。

● 組付け方法

肩ベルトの組付けは必ず販売店または当社にご依頼ください。

● 使用方法

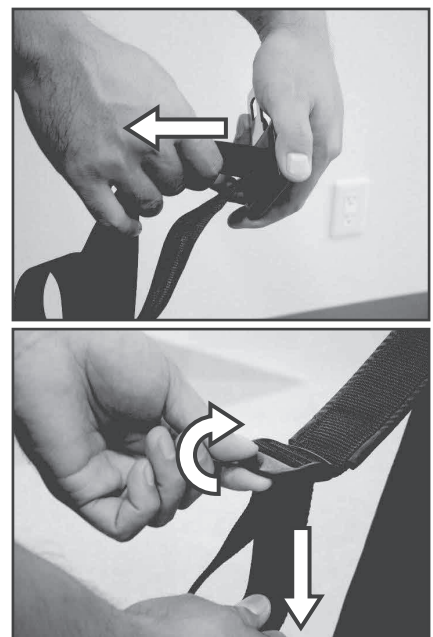


ご使用にならないときは、ベルト長さを短くして昇降機構部にベルト部分が挟まらないようにご注意ください。

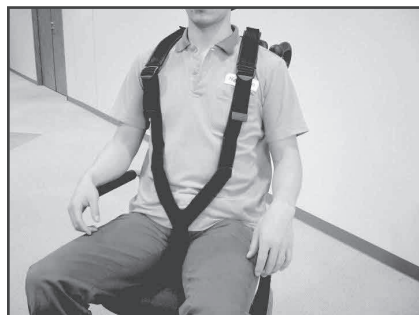
昇降機構部に挟まり機器の故障につながります。

■ 取付け

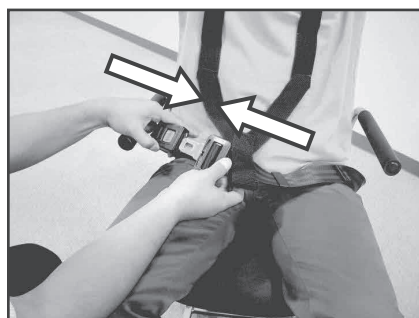
- 1 搭乗者の方に深く腰掛けていただきます。腰ベルトと肩ベルトのベルト部分を緩め、少し長めに伸ばします。



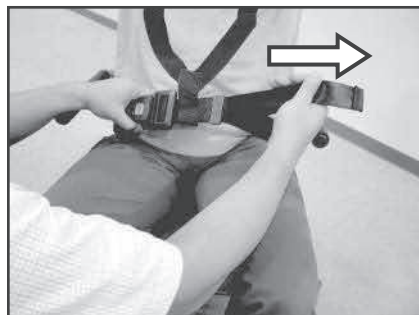
- ② 肩ベルトを搭乗者の上からかぶせます。



- ③ 肩ベルトの下側の通し穴に腰ベルトを通して、腰ベルトの左右のバックルを“カチッ”というまでロックします。



- ④ 腰ベルトを搭乗者に合わせてベルトを締めて調整します。



- ⑤ 肩ベルトを搭乗者に合わせてベルトを締めて調整します。



要 点

腰ベルトは、搭乗者の骨盤のあたりで固定するとしっかりととまります。

■ 取外し

- ① 肩ベルトのベルトを緩めます。
- ② 腰ベルトのロックを解除して外します。
- ③ 腰ベルトを肩ベルト下側の穴から抜いて、分離します。
- ③ 肩ベルトを上にあげて、バックレストの後側に移します。

3 ヘッドレスト

搭乗者の頭の部分を支えるものです。

● 組付け方法

ヘッドレストの組付けは必ず販売店または当社にご依頼ください。

● 使用方法

- ① 搭乗者の方に深く腰掛けていただきます。
- ② 搭乗者の頭の高さに合わせて、高さ調整ノブ①を回して調整します。
- ③ 搭乗者の頭の前後位置に合わせて、前後調整ノブ②を回して調整します。
- ④ 搭乗者の頭の向きに合わせて、ヘッドレストを動かして角度を調整します。



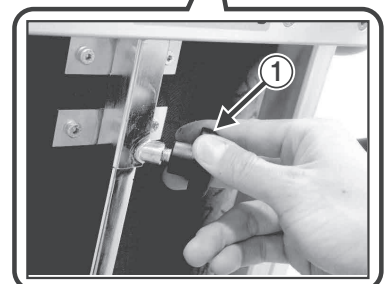
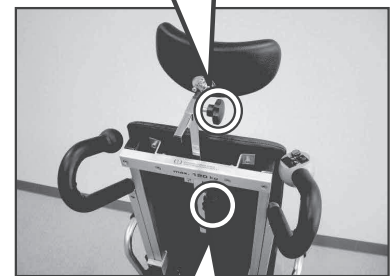
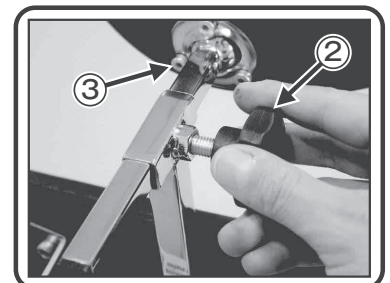
要 点

ヘッドレストの角度の固定が緩くなったときは、固定ボルト③を締めてください。
締めすぎると動かなくなりますので、少し緩めに締めてください。



注 意

各ノブは、しっかりと締まっているか必ずご使用前に確認してください。



4 保護帽

使用中、転落などの事故によるケガを最小限に食い止めるため、より安全に安心してご利用いただくため、保護帽の着用を義務化しています。



搭乗者は必ず弊社推奨の保護帽もしくは弊社指定の条件を満たしたものをかぶってください。

● 保護帽の仕様 ※ 付属品

本体と一緒にご購入いただいた場合は同梱されています。

- 製品名：アボネット特別仕様
(特殊衣料社製)
- タイプ：ハット型
- 色： ネイビー
- サイズ：フリーサイズ



● 保護帽の条件 ※ 付属品の保護帽以外を使用される場合

付属の保護帽以外を使用される場合は、以下のすべての条件を必ず満たしたものをご使用ください。

- 原動機付自転車のヘルメット以上の性能を有したもの
(JIS T 8133 で規定される 1 種以上の性能を有していること)
- つばがないもの、もしくは柔らかい材質でできているもの



つばが樹脂などの硬い材質でできているものは使用しないでください。
破損したときにケガをするおそれがあります。

10. 日常の点検とお手入れ方法



警告



強制



注意

外部損傷や不具合がなくても、必ず2年ごとに定期点検を販売店または当社にご依頼ください。

- ボルト・ナットの締結部品を緩めたり、分解・改造したりしないでください。分解・修理が必要なときは、必ず販売店または当社にご依頼ください。
- 日常点検やお手入れの際は、電源を切ってからバッテリーを外してください。ただし、走行中の点検内容は除きます。また、人が搭乗していない状態で点検を行ってください。
- 機構部分には絶対に手をいれないでください。

1

日常の点検



警告

セーフティブレーキや昇降フットを交換するときは必ず両方交換してください。

● 基本的な点検内容

- フレームやハンドルやバックレストにひび割れや変形はないか？
- 昇降アームにひび割れや変形はないか？
- 案内ピンや固定ピンやセーフティアームにひび割れや変形はないか？
- 電源ケーブルに傷やつぶれはないか？
- セーフティアームを手で動かすとグラグラと動かないか？
- 案内ピンや固定ピンは手で動かすとグラグラと動かないか？
- 各ノブはしっかりと締まるか？
- 各ボルトなどに緩みはないか？
- セーフティアーム先端の車輪やタイヤはスムーズに回るか？
- 昇降動作を行なうとこすれ音などの異音はないか？

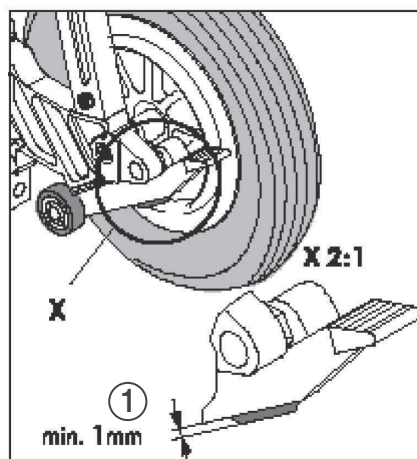
● セーフティブレーキ

週に 1 度はセーフティブレーキのブレーキパッドの厚み①をチェックしてください。最低でも 1mm の厚さが必要です。厚さが 1mm ない場合は交換する必要がありますので、販売店もしくは当社までご連絡ください。



注意

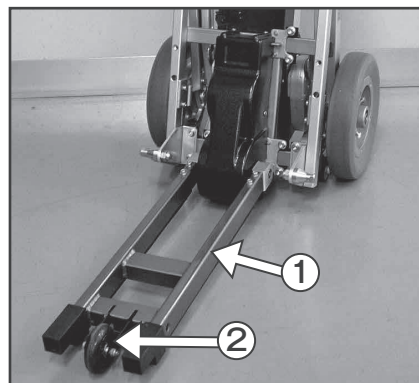
J-MAXのご使用前には必ず毎回セーフティブレーキをチェックしてください。(P.31 参照)



● セーフティアーム

アーム①を持って上下に動かしたときに、なめらかに動き異常な音がしないことをチェックしてください。

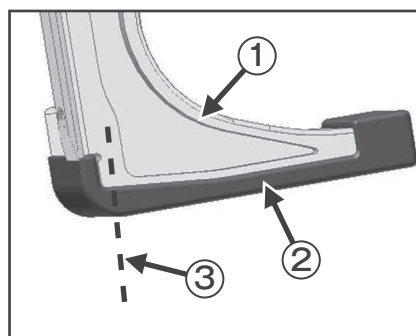
アーム①先端の車輪②がなめらかに回転すること、および磨耗や損傷がないことをチェックしてください。磨耗や損傷が見つかった場合は、販売店もしくは当社までご連絡ください。



● 昇降フット

昇降アーム①の先端にある昇降フット②に磨耗や損傷がないかご使用前と日常の点検で必ずチェックしてください。また、③の部分の厚さが 6mm 以上あるかチェックしてください。

片方でも磨耗や損傷があったり、厚さが規定よりも薄くなっていたりした場合は、両方とも交換する必要がありますので、販売店もしくは当社までご連絡ください。



2 お手入れ

● セーフティブレーキ周辺

セーフティブレーキやタイヤ枠の内側にあるブレーキドラムのぎざぎざ部分は、週に一度アルコールで清掃してください。



石鹼水や油性のクリーナーを使用しないでください。

セーフティブレーキ洗浄後は、P.31 に従ってセーフティブレーキをチェックしてください。

● その他の部品

セーフティブレーキ（P.15 参照）を除くフレームやシートなどは水で濡らした後にしぼった布で拭いてください。



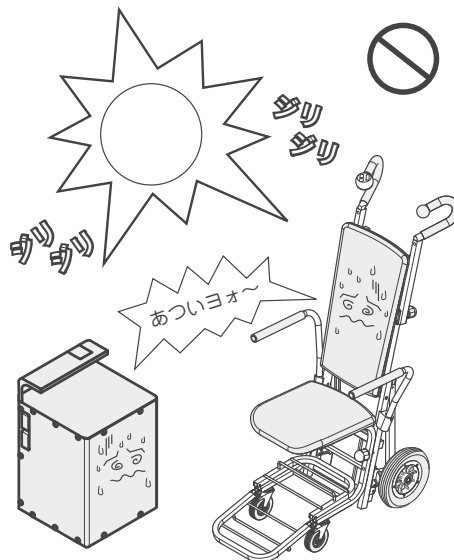
-
- 汚れを落とす場合は、水や薬品を絶対かけないでください。
電子部品を使用していますので、電気系統に水が入ると作動不良になったり、安全を損なう場合があります。
 - 配線ケーブルを無理に引っ張ったりしないでください。
断線などの原因になります。
-

11. 保管方法

一般的な住宅の屋内での保管をお勧めします。



- 水がかかる場所や湿気の多い場所には放置しないでください。
電気系統に異常が発生する恐れがあります。
- 直射日光の当たる場所や火気の近く、炎天下の車中など 50 度以上になるところに放置しないでください。
機器の故障につながります。
- 砂ぼこりなどがかからないように保管してください。
機器の故障や異音発生の原因になります。
- お子様が遊びに使えるような場所や、車道に近い場所、および傾斜地には放置・駐車をしないでください。
- 操作講習を受けていない方や子供が使用しないように、使用しないときは操作キーとバッテリーを外して管理してください。
- バッテリーを長期保管する場合は、満充電で保管してください。(P.46 参照)
- ご使用前には必ずセーフティアーム、角度センサ、セーフティブレーキのチェックをしてください (P.31,55,56 参照)。
ブレーキ部分には石鹼水や油性のクリーナーなどを付着させないでください。異常があるときにはいかなる状況でも使用を中止してください。



12. おかしいと思ったら



- 異常があるときは使用しないでください。
また、昇降中に何か異常を感じたら、すぐに昇降スイッチを離して、安定位置に戻るか非常停止（P.32 参照）してください。
- 分解や改造はしないでください。
分解・修理が必要なときは、必ず販売店にご依頼ください。

各状況に応じて、下の内容に沿って調べてください。それでも直らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ ご使用時におかしいと思ったら

状 況	調べること	処 置
電源が入らない (電源表示灯が点灯しない)	電源は ON になっていますか？	電源スイッチを ON にしてください。
	電源ケーブルは奥まで差し込んで止め具で固定していますか？	電源ケーブルをしっかりと差し込んで止め具で固定してください。
	バッテリーは十分に充電されていますか？	バッテリーを正常に完了するまで充電してください。
昇降動作をしない	操作キーは取り付けられていますか？	<ul style="list-style-type: none">• 操作キーを差し込んでください。• それでも解消しない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	電源表示灯が 2 回点滅になっていませんか？	バッテリーの容量が不足しています。充電が正常に完了するまで充電してください。
	電源表示灯が 4 回点滅になっていませんか？	<ul style="list-style-type: none">• 昇降スイッチの故障です。• お買い上げの販売店にご連絡ください。
	電源表示灯が 5 回点滅になっていませんか？	<ul style="list-style-type: none">• モータの故障です。• お買い上げの販売店にご連絡ください。
	電源表示灯が 6 回点滅になっていませんか？	<ul style="list-style-type: none">• 基板の故障です。• お買い上げの販売店にご連絡ください。

状 況	調べること	処 置
途中で昇降が止まる	電源表示灯が 1 回点滅になっていませんか？	全ての搭載荷重が最大の 120kg を超えています。 120kg 以下でご使用ください。
	電源表示灯が 2 回点滅になっていませんか？	バッテリーの容量が不足しています。 充電が正常に完了するまで充電してください。
	バッテリーはご使用から 2 年程たっていないですか？	バッテリーの寿命です。 新品のバッテリーと交換してください。
使用時間が短い	電源表示灯が 2 回点滅になっていませんか？	バッテリーの容量が不足しています。 充電が正常に完了するまで充電してください。
	バッテリーはご使用から 2 年程たっていないですか？	バッテリーの寿命です。 新品のバッテリーと交換してください。
セーフティーブレーキがかからない	速やかにご使用をやめて、ブレーキパッドの厚みを確認してください。 (P.55 参照)	<ul style="list-style-type: none"> ブレーキパッドの厚みが 1mm 以上無い場合は交換が必要です。 お買い上げの販売店にご連絡ください。 1mm 以上ある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
セーフティアームが作動しない	速やかに右の処置を行ってください。	直ちにご使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。
走行できない	セーフティブレーキがかかっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> セーフティブレーキの点検を行ってください。 異常がある場合は、直ちにご使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。
異音がする	電源を切って、昇降機構部に何かものなどが挟まっていないかを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 挟まっているものを取り除いてください。 解消しない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
昇降スイッチを離しても動作がとまらない	速やかに右の処置を行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってください。 バッテリーを外してください。 お買い上げの販売店にご連絡ください。

状 況	調べること	処 置
煙や異臭がする	速やかに右の処置を行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> 電源を切ってください。 バッテリーを外してください。 お買い上げの販売店にご連絡ください。
ガイドブザーが鳴らない	セーフティアームが作動したときにブザーは鳴りますか？	鳴らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
	ガイドブザー機能は ON にしていますか？	ガイドブザーの音量調整を行ってください (P.40 参照)。 鳴らない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
ブザー音とブルブルの振動が消えない	バランス状態にすると、15 秒程度で消えましたか？	セーフティアームと角度センサの確認を行って下さい (P.31 参照)。 異常がなければ使用可能です。 何か異常を感じる、または電源を入れるたびに状況を繰り返す場合は、販売店にご連絡ください。
	バランス状態にしても消えませんか？	電源を入れなおしてください。 解消しない場合は、直ちにご使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 充電時におかしいと思ったら

状 況	調べること	処 置
充電されない	充電器の表示ランプは点灯していますか？	電源プラグをしっかりと差し込んでください。
	充電器の表示ランプは橙色に点灯していますか？	充電器コネクタを奥までしっかりと差し込んでください。
充電がすぐに終る	充電済みのバッテリーではありませんか？	再充電して同じようであれば充電完了です。
	バッテリーはご使用から 2 年程たっていないですか？	バッテリーの寿命です。 新品のバッテリーと交換してください。
煙が出たり、異臭がしたりする	速やかに右の処置を行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● 充電器コネクタをバッテリーから外してください。 ● お買い上げの販売店にご連絡ください。
触れないくらいに表面が熱くなっている	速やかに右の処置を行ってください。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● 充電器コネクタをバッテリーから外してください。 ● お買い上げの販売店にご連絡ください。

13. 製品仕様

● J-COMPACT モデル

寸法	高さ： 1095mm 幅： 440mm 奥行き： 515mm ※ セーフティアーム長さを含む全長：1030mm
重量	総重量（バッテリー含む）： 34kg 各部の重量 • バックレスト： 4.3kg • バッテリー： 4.4kg
最大荷重	120kg ※ 専用車いす（J-COMPACT）最大荷重：100kg
バッテリー	2×12V/5Ah
直流モーター	24V
スピード	8 ～ 23 段 / 分
1 充電あたりの使用範囲	約 300 段（15 ～ 30 階）の往復 ただし、バッテリーや荷重の状態によって異なります
段の高さ	21cm 以下
段の奥行	21cm 以上
充電器	AC100V ～ 240V の入力対応

記載内容や仕様などは、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

● J-SEAT モデル

寸法	高さ： 1090mm 幅： 485mm 奥行き： 1090mm ※ セーフティアーム長さを含む
重量	総重量： 40kg 各部の重量 <ul style="list-style-type: none"> • シート部： 4.6kg • バックレスト： 4.3kg • アームレスト： 1.2kg • バッテリー： 4.4kg
最大荷重	120kg
バッテリー	2×12V/5Ah
直流モーター	24V
スピード	8 ～ 23 段 / 分
1 充電あたりの使用範囲	約 300 段（15 ～ 30 階）の往復 ただし、バッテリーや荷重の状態によって異なります
段の高さ	21cm 以下
段の奥行	21cm 以上
充電器	AC100V ～ 240V の入力対応

記載内容や仕様などは、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

14. 保証とアフターサービス

● 保証について 《保証規定》

※ 保証期間は、お買い上げ日より1年です。

1. 取扱説明書、本体注意ラベルなどに従った正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合は無料で修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (イ) 本書の提示がない場合
 - (ロ) 本書に購入年月日等の必要事項が記入されていない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (ハ) 不当な修理や改造による故障や損傷
 - (ニ) 専用部品以外のものを使用された場合
 - (ホ) 使用上の誤り、取扱上の誤りによる故障や損傷
 - (ヘ) 当社規程の操作講習を受けていない方が操作された場合
 - (ト) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変や公害など外部に要因がある故障や損傷
 - (チ) 移動時の落下などによる故障や損傷
3. 消耗品類は、本保証書による保証の対象とはなりません。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害については、弊社はその責任を負わないものとします。

● アフターサービスについて

ご使用中に万一故障などが発生し部品の交換、修理の必要が生じた場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証書

この保証書は、本書の保証規定に基づき無償保証を行うことをお約束するものです。

保証規定に当てはまる場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

商品名	階段昇降ユニット J-MAX J-COMPACT モデル J-SEAT モデル	お名前 様
車体番号		ご住所 〒 ー
付属品	ヘッドレスト 肩ベルト 腰ベルト 保護帽	お電話 ()
購入年月日	年 月 日	販売店名
保証期間	ご購入より1年間	住所 印

※本保証書は再発行しませんので、大切に保管して下さい。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

発売元

および

製造元

株式会社サンワ

〒350-1325 埼玉県狭山市根岸571

TEL : 04-2954-6611

FAX : 04-2954-6617

http : //www.sunwa-jp.co.jp

